

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

教 育 原 理

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「日本国憲法」第26条の一部である。( A )・( B )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける( A )を有する。
- ・ すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる( B )を負ふ。

(組み合わせ)

- |   | A  | B  |
|---|----|----|
| 1 | 資格 | 義務 |
| 2 | 資格 | 責務 |
| 3 | 特権 | 義務 |
| 4 | 権利 | 責務 |
| 5 | 権利 | 義務 |

問2 次の文は、「幼稚園教育要領」の一部である。( A )～( C )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

( A )は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、( B )は、( C )に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

【語群】

ア 乳幼児教育	イ 幼稚園教育	ウ 幼児期の教育
エ 就学前教育	オ 教育基本法	カ 学校教育法

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | オ |
| 2 | ア | ウ | カ |
| 3 | ウ | ア | カ |
| 4 | ウ | イ | カ |
| 5 | エ | ウ | オ |

問3 次のうち、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」第1章「総則」第2「教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等」の一部として、誤ったものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画を作成すること
- B 満3歳以上の園児の教育課程に係る教育週数は、特別の事情のある場合を除き、51週を下ってはならない
- C 1日の教育課程に係る教育時間は、8時間を標準とする。ただし、園児の心身の発達の程度や季節などに適切に配慮するものとする
- D 園長の方針の下に、園務分掌に基づき保育教諭等職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら、教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画や指導の改善を図るものとする
- E 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画に基づき組織的かつ計画的に各幼保連携型認定こども園の教育及び保育活動の質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B E
- 5 D E

問4 次のうち、プロジェクト・メソッドについての説明として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 プロジェクト・メソッドは、デューイ (Dewey, J.) の後継者の一人であったキルパトリック (Kilpatrick, W.H.) によって提唱されたもので、問題解決学習の一種と考えられる。
- 2 プロジェクト・メソッドでは、目標の設定→計画の立案→実践→反省・評価、という一連の学習活動を生徒自身が行うことになる。
- 3 プロジェクト・メソッドは、学習内容を系統化し、学習者が各ステップを踏みながら、確実に目標に到達できるように計画された教授学習の方法である。
- 4 プロジェクトとは、「社会的な環境の中で全精神を打ち込んで行われる目的の明確な活動」と定義されるものである。
- 5 プロジェクト・メソッドでは、生徒の学習が生徒自身の自発的な活動として展開されることに力点がおかれる。

問5 次の文は、ある国の保育についての記述である。どこの国のものか、正しいものを一つ選びなさい。

この国において、「学びの物語 Learning Stories」と呼ばれる、子ども一人一人にフィードバックされ、蓄積される保育記録が開発された。子どもそれぞれの変容を捉えるとともに、子どもが関心を持ち取り組もうとしていること、その過程で工夫したり考えたりしていることを学びの「構え disposition」として捉えようとしている。

- 1 ニュージーランド
- 2 イタリア
- 3 シンガポール
- 4 スウェーデン
- 5 イギリス

問6 次の文は、ある法令に関する説明である。正しいものを一つ選びなさい。

1872（明治5）年の「学制」に代わる教育に関する基本法制として、1879（明治12）年9月に公布された。学区制を廃止し、町村を小学校の設置単位と位置付け、その行政事務を行うために町村に人民公選の学務委員を置くこととされた。また、小学校の最低就学期間を16か月とし、公立学校の教育課程を地域の実情に即して学務委員と教員が定めることとなった。しかし、この法令の施行後、教育現場に混乱が見られるなどしたため、翌年、全面的な改正が行われた。

- 1 学事奨励ニ関スル被仰出書
- 2 小学校令
- 3 教育ニ関スル勅語（教育勅語）
- 4 教育令
- 5 教育基本法

問7 次の文にあてはまる人物として、正しいものを一つ選びなさい。

江戸時代初期の儒学者。日本における陽明学の祖とされ、「近江聖人」と呼ばれた。『翁問答（おきなもんどう）』を著す。その内容は、人が単に外的な規範に形式的に従うことをよしとせず、人の内面の道徳的可能性を信頼し、聖人の心を模範として自らの心を正しくすることこそが真の正しい行為と正しい生き方をもたらすと説いた。

- 1 中江 藤樹
- 2 伊藤 仁斎
- 3 緒方 洪庵
- 4 林 羅山
- 5 貝原 益軒

問8 次の小学校における教師の指導のうち、潜在的カリキュラムとしてジェンダー・バイアスを助長する恐れのあるものとして、適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 道徳の授業で、性別にかかわらず協力し助け合うように指導した。
- B 誕生日のお祝いに、いつも女兒には赤のカードを、男児には青のカードを渡している。
- C 体育の授業で、思春期には内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟し、体形に性差が表れることを教えた。
- D 授業中に泣いている男児に対して、「男なのだから泣くのはやめなさい」と言って注意した。
- E いつもズボンを履いてくる女兒に対して、「もっと女の子らしい服装をしましょう」と優しくアドバイスをした。

(組み合わせ)

- 1 A B C
- 2 A D E
- 3 B C D
- 4 B D E
- 5 C D E

問9 次のうち、「新・放課後子ども総合プラン」（平成30年9月）についての記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次世代を担う人材を育成するため、全ての児童（小学校に就学している児童をいう）が放課後等を安全・安心に過ごすことを専ら目的として、文部科学省から厚生労働省に移管して取り組んでいる事業である。
- 2 放課後児童クラブ及び放課後子供教室を一体的に又は連携して実施し、うち一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室について、引き続き1万か所以上で実施することを目指している。
- 3 全ての児童（小学校に就学している児童をいう）の安全・安心な居場所づくりの観点から、小学校の余裕教室等の活用や、教育と福祉との連携方策等について検討しつつ、放課後児童クラブ及び放課後子供教室を計画的に整備等していくことが必要である。
- 4 放課後児童クラブについては、既に多様な運営主体により実施されているが、待機児童が数多く存在している地域を中心に、民間企業が実施主体としての役割をより一層担っていくことが考えられる。その際、地域のニーズに応じ、本来事業に加えて高付加価値型のサービス（塾、英会話、ピアノ、ダンス等）を提供することも考えられる。
- 5 放課後子供教室については、地域と学校が連携・協働して社会総掛かりで子どもの育ちを支える観点から、大学生・高校生や企業退職者、高齢者などの地域住民の一層の参画促進を図るとともに、子育て・教育支援に関わるNPO、習い事や学習塾等の民間教育事業者、スポーツ・文化・芸術団体などの地域人材の参画を促進していくことも望まれる。

問 10 次の文は、中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和3年1月）に関する記述である。適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。
- B 次代を切り拓く子供たちに求められる資質・能力として、文章の意味を正確に理解する読解力、教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や納得解を生み出す力などが挙げられている。
- C 「みんなと同じことができる」「言われたことを言われたとおりにできる」というように、均質な労働者の育成が現代社会の要請として学校教育に求められている。
- D 「予測困難な時代」の中、目の前の事象から解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すなどの資質・能力が求められている。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | × |

# 教育原理

---

## 問1 正解 5

- ・ すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける（ A 権利 ）を有する。
- ・ すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる（ B 義務 ）を負ふ。

## 問2 正解 4

（ A：ウ 幼児期の教育 ）は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、（ B：イ 幼稚園教育 ）は、（ C：カ 学校教育法 ）に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

## 問3 正解 3

- A・D ○ 適切です。  
B × 不適切です。「51週」ではなく「39週」です。  
C × 不適切です。「8時間」ではなく「4時間」です。

## 問4 正解 3

- 1・2・4・5 ○ 適切です。  
3 × 不適切です。設問はスキナーの「ティーチングマシン」についての記述です。

## 問5 正解 1

設問は「テ・ファリキ」についての記述です。テ・ファリキは1996年にニュージーランドで導入された幼児教育のカリキュラムです。

## 問6 正解 4

教育令は1879(明治12)年に学制を廃止して公布された教育の法令です。

## 問7 正解 1

中江藤樹は江戸時代初期の陽明学者です。「知行合一」を唱え、日本における陽明学の祖とされています。主著『翁問答』では、孝を道德の根本とし、幼少期からの教育の徳教を重視するとともに、父母の役割に期待しました。多くの人々に尊敬され、「近江聖人」と呼ばれました。

2の伊藤仁斎は江戸時代前期の京都の儒学者・思想家です。古義学を首唱し、「古義堂」という塾を開き多くの門弟に教えました。

3の緒方洪庵は幕末の蘭学者であり教育者。長崎に遊学した後、大阪に適塾を開き蘭学を教え始めました。

4の林羅山は江戸時代初期の朱子学派儒学者です、昌平坂学問所の土台を作りました。

5の貝原益軒は江戸時代の本草学者、儒学者です。著書『和俗童子訓』は児童の発展に応じた教育法（随年教法）です。幼少期からの教育の必要性を述べ、幼児教育の詳細なカリキュラムが示されています。本書はのちに発展した寺子屋教育、明治以降の小学校の基礎になったと考えられています。

## 問8 正解 4

- A・C ○ 適切です。  
B × 不適切です。「女兒＝赤、男児＝青」は色によるジェンダーバイアスです。  
D・E × 不適切です。

ジェンダーバイアスとは、「男らしさ」「女らしさ」といった、性別による差や男女の役割に関する無意識の思い込み、偏見・先入観のことです。

問9 正解 1

1 × 不適切です。「文部科学省から厚生労働省に移管して」ではなく「文部科学省と厚生労働省が協力して」です。

2～5 ○ 適切です。

問10 正解 2

A・B・D ○ 適切です。

C × 不適切です。

我が国の教師は、子供たちの主体的な学びや、学級やグループの中での協働的な学びを展開することによって、自立した個人の育成に尽力してきた。

その一方で、我が国の経済発展を支えるために、「みんなと同じことができる」「言われたことを言われたとおりにできる」上質で均質な労働者の育成が高度経済成長期までの社会の要請として学校教育に求められてきた中で、「正解（知識）の暗記」の比重が大きくなり、「自ら課題を見つけ、それを解決する力」を育成するため、他者と協働し、自ら考え抜く学びが十分なされていないのではないかという指摘もある。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申) 令和3年1月26日 中央教育審議会 に記載されています。

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子どもの食と栄養

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、「平成27年度乳幼児栄養調査結果の概要」（厚生労働省）の「離乳食について困ったこと（回答者：0～2歳児の保護者）」において、最も割合の高い回答の項目として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 もぐもぐ、かみかみが少ない（丸のみしている）
- 2 食べる量が少ない
- 3 食べ物をいつまでも口にためている
- 4 食べさせるのが負担、大変
- 5 作るのが負担、大変

問2 次の文は、脂質に関する記述である。（ A ）・（ B ）にあてはまる数値を【数値群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

脂質は、1gあたり約（ A ）kcalのエネルギーを産生する。「日本人の食事摂取基準（2020年版）」では、脂肪エネルギー比率（総脂質からの摂取エネルギーが総摂取エネルギーに占める割合）の目標量を、1歳以上の全年齢で（ B ）%としている。

【数値群】

ア 4	イ 9	ウ 10～20	エ 20～30	オ 30～40
-----	-----	---------	---------	---------

（組み合わせ）

- |   | A | B |
|---|---|---|
| 1 | ア | ウ |
| 2 | ア | エ |
| 3 | ア | オ |
| 4 | イ | ウ |
| 5 | イ | エ |

問3 次のうち、「日本人の食事摂取基準（2020年版）」（厚生労働省）に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 年齢区分は1～17歳を小児、18歳以上を成人とする。
- B 10年ごとに見直しがなされ、改定される。
- C 栄養素の指標として、「推定平均必要量」「推奨量」「目安量」「耐容上限量」「目標量」の5種類が設定されている。
- D 基本的に健康な個人及び集団を対象としている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問4 次の【I群】の味の相互作用と、【II群】の例を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【I群】

- A 対比効果
- B 抑制効果
- C 相乗効果

【II群】

- ア すいかに塩をかける
- イ 2種類のうま味（だし）を混ぜるとより一層うま味が強くなる
- ウ コーヒーに砂糖を加える

(組み合わせ)

	A	B	C
1	ア	イ	ウ
2	ア	ウ	イ
3	イ	ア	ウ
4	イ	ウ	ア
5	ウ	イ	ア

問5 次のうち、授乳に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「平成27年度乳幼児栄養調査結果の概要」(厚生労働省)では、「授乳について困ったこと」がある者(回答者:0~2歳児の保護者の総数)は、約5割であった。
- B 分娩後、数日間分泌される黄色みをおびた粘りのある母乳を初乳という。
- C 母乳育児の利点として、小児期の肥満やのちの2型糖尿病の発症リスクの低下が報告されている。
- D 乳児用液体ミルクは、液状の人工乳を容器に密封したものであり、常温での保存が可能なものである。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問6 次の文は、母乳分泌のしくみに関する記述である。(A)~(C)にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

乳児が乳首を吸う(A)反射とその刺激は、間脳視床下部を経て脳下垂体へと伝わる。下垂体前葉から(B)が分泌されて乳汁の合成が促進され、下垂体後葉から(C)が分泌され、乳汁を放出して射乳が起こる。また(C)は子宮の筋肉を収縮させて、子宮の回復を促す。

【語群】

ア 吸てつ	イ 吸引	ウ プロラクチン	エ エストロゲン
オ オキシトシン	カ 黄体ホルモン		

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ |
| 2 | ア | エ | ウ |
| 3 | イ | ウ | オ |
| 4 | イ | エ | カ |
| 5 | イ | カ | エ |

問7 次のうち、幼児期の健康と食生活に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 感染に対する抵抗力が弱い。
- B 消化機能が十分に発達していないため、1回（食）に消化できる量などに配慮が必要である。
- C 骨格、筋肉、臓器など身体のあらゆる組織をつくるために十分な栄養素の供給が必要となるが、体重1kgあたりでは成人よりも必要とする栄養素は少ない。
- D 「偏食する」「むら食い」「遊び食べをする」などが起きやすい。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | ○ | × |

問8 次のうち、幼児期の間食に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「平成27年度乳幼児栄養調査結果の概要」(厚生労働省)の「子どもの間食(3食以外に食べるもの)の与え方(回答者:2~6歳児の保護者)」において、「欲しがる時にあげることが多い」と回答した保護者の割合が最も高かった。
- B 「平成27年度乳幼児栄養調査結果の概要」(厚生労働省)の「子どもの間食(3食以外に食べるもの)として甘い飲み物やお菓子を1日にとる回数(回答者:2~6歳児の保護者)」において、どの年齢階級も「3回」と回答した者の割合が最も高かった。
- C 幼児期では、間食を食事の一部と考え、間食でエネルギーや栄養素、水分の補給を行うことが望ましい。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ |

問9 次のうち、学童期の食生活に関する記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「学校給食摂取基準の策定について（報告）」（令和2年 文部科学省）によると、学校給食のない日は、ある日と比べて、カルシウムの摂取不足が顕著であった。
- 2 「楽しく食べる子どもに～食からはじまる健やかガイド～」（平成16年 厚生労働省）では、学童期に育てたい「食べる力」として、「自分の食生活を振り返り、評価し、改善できる」をあげている。
- 3 「学校給食法」の「学校給食の目標」の一つに、「適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること」があげられている。
- 4 「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査」（文部科学省）によると、「朝食を毎日食べていますか」という質問に対し、「あまりしていない」、及び「全くしていない」と回答した小学校6年生の割合は約3割であった。
- 5 「食に関する指導の手引 第二次改訂版」（平成31年 文部科学省）では、「給食指導とは、給食の準備、会食、片付けなどの一連の指導を、実際の活動を通して、毎日繰り返し行う教育活動である」と述べられている。

問10 次のうち、学校給食に関する記述として、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「学校給食法」第2条に定められた「学校給食の目標」は、5項目である。
- B 「令和3年度学校給食実施状況等調査」（文部科学省）によると、約99%の小学校で学校給食（完全給食・補食給食・ミルク給食）を実施している。
- C 「令和3年度学校給食実施状況等調査」（文部科学省）によると、完全給食を実施している国公立学校での米飯給食の週当たりの平均実施回数は2回である。
- D 「第4次食育推進基本計画」（農林水産省）では、実施最終年度までに、学校給食における地場産物を活用した取組等を増やすことを目標として設定している。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 11 次の文は、「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針～妊娠前から、健康なからだづくりを～」(令和3年 厚生労働省)の一部である。( A )～( C )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 乳製品、緑黄色野菜、豆類、( A )などでカルシウムを十分に
- ・ 妊娠中の( B )は、お母さんと赤ちゃんにとって望ましい量に
- ・ ( C )から赤ちゃんを守りましょう

(組み合わせ)

	A	B	C
1	小魚	食事量	感染症
2	小魚	食事量	たばことお酒の害
3	小魚	体重増加	たばことお酒の害
4	いも類	体重増加	たばことお酒の害
5	いも類	食事量	感染症

問 12 次のうち、「食育基本法」に定められた食育に関する基本理念として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献
- B 子どもの食育における保護者、教育関係者等の役割
- C 食品の安全性の確保等における食育の役割
- D 健康寿命の延伸及び健康格差の縮小

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

問 13 次のうち、「食育推進基本計画」に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食育推進基本計画は、「食育基本法」に基づき、食育の推進に関する基本的な方針や目標について定めている。
- B 都道府県は、食育推進基本計画に基づき、食育推進計画を作成するよう努めなければならない。
- C 「第4次食育推進基本計画」（農林水産省）は、令和4～6年度までの計画である。
- D 「第4次食育推進基本計画」（農林水産省）の重点事項の一つに、「持続可能な食を支える食育の推進」がある。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問 14 次の文は、「保育所保育指針」第3章「健康及び安全」の2「食育の推進」の一部である。( A ) ～ ( D ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や ( A ) への意識、調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員等との関わりや、( B ) など食に関わる保育環境に配慮すること。
- ・ ( C ) や地域の多様な関係者との連携及び協働の下で、食に関する取組が進められること。また、( D ) の支援の下に、地域の関係機関等との日常的な連携を図り、必要な協力が得られるよう努めること。

(組み合わせ)

- |   | A       | B    | C   | D    |
|---|---------|------|-----|------|
| 1 | 食の循環・環境 | 調理室  | 保護者 | 市町村  |
| 2 | 食の循環・環境 | 畑・園庭 | 行政  | 都道府県 |
| 3 | いのちの大切さ | 畑・園庭 | 保護者 | 市町村  |
| 4 | いのちの大切さ | 調理室  | 行政  | 市町村  |
| 5 | いのちの大切さ | 畑・園庭 | 保護者 | 都道府県 |

問 15 次のうち、保育所における地域の子育て家庭への支援に関する記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 食を通した保育所機能の開放（調理施設活用による食に関する講習などの実施や情報の提供、体験保育など）
- 2 食に関する相談や援助
- 3 食を通した子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進
- 4 保護者に対する生活習慣病の指導
- 5 食を通した地域の人材の積極的な活用による地域の子育て力を高める取組の実施

問 16 次のうち、「楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針～」(平成 16 年 厚生労働省)における 5 つの期待する子ども像として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 お腹がすくりズムのもてる子ども
- 2 好き嫌いがないうちも
- 3 一緒に食べたい人がいる子ども
- 4 食事づくり、準備にかかわる子ども
- 5 食べものを話題にする子ども

問 17 次のうち、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」（昭和 23 年厚生省令第 63 号）に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 当該保育所の満 1 歳以上の幼児に対する食事の提供について、保育所は特例として当該保育所外で調理し搬入する方法により行うことができる。
- B 当該保育所または他の施設、保健所、市町村等の栄養士により、献立等について栄養の観点からの指導が受けられる体制をとる。
- C 幼児の年齢及び発達の段階並びに健康状態に応じた食事の提供や、アレルギー、アトピー等への配慮、必要な栄養素量の給与等、幼児の食事の内容、回数及び時機に適切に応じることができること。
- D 食を通じた乳幼児の健全育成を図る観点から、乳幼児の発育及び発達の過程に応じて食に関し配慮すべき事項を定めた食育に関する計画に基づき食事を提供するよう努める。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	×	×
3	×	○	○	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問 18 次のうち、果物に関する記述として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「6つの基礎食品」において、果物は、緑黄色野菜とともに第 3 群に分類されている。
- 2 「食事バランスガイド」（平成 17 年 厚生労働省・農林水産省）に示されている 5 つの料理区分に「果物」は含まれていない。
- 3 「授乳・離乳の支援ガイド」（2019 年改定版 厚生労働省）では、離乳開始前に果汁を与え、離乳の準備を行うことが推奨されている。
- 4 果物類は食物アレルギーの原因食物にならない。
- 5 「第 4 次食育推進基本計画」（農林水産省）では、実施最終年度までに、1 日あたりの果物摂取量が 100 g 未満の者の割合を 30% 以下とすることを目標値として設定している。

問 19 次のうち、「児童福祉施設における食事の提供ガイド」(平成 22 年 厚生労働省)の「調理実習(体験)等における食中毒予防のための衛生管理の留意点」に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 調理実習(体験)等の実施にあたっては、施設全体の職員の協力を得ることが望ましいことから、年間(月間)計画等の中で、施設全体の計画として立てる。
- B 原材料および、調理済み品の保存食を確保する。
- C 加熱調理後は 24 時間以内に喫食することを徹底する。
- D 加熱する場合には十分に行い、中心温度計で、計測、確認、記録を行う。
- E ソラニン類食中毒を防止する方法として、ジャガイモの芽や日光に当たって緑化した部分を十分に取り除き、調理を行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	×	×
3	○	○	×	○	○
4	○	×	×	○	×
5	×	×	○	×	○

問 20 次のうち、嚥下が困難な子どもの食事に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 誤嚥しやすい飲食物には、水やみそ汁などがある。
- B 酸味の強い柑橘類は、食べやすい食品である。
- C 飲み込みやすい食品形態には、ゼリー状、ポタージュ状などがある。
- D トロミ調整食品(増粘剤)には、加熱することなくトロミがつけられるものがある。
- E 食物を嚥下しやすくする食品には、かたくり粉、コーンスターチ、ゼラチンなどがある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	×	×	○
3	○	×	○	○	○
4	×	○	○	×	×
5	×	×	×	○	×

# 子どもの食と栄養

---

## 問1 正解 5

- 1 もぐもぐ、かみかみが少ない（丸のみしている） 28.9%
- 2 食べる量が少ない 21.8%
- 3 食べ物をいつまでも口にためている 3.0%
- 4 食べさせるのが負担、大変 17.8%
- 5 作るのが負担、大変 33.5%

## 問2 正解 5

脂質は、1gあたり約（ A：イ 9 ）kcal のエネルギーを産生する。「日本人の食事摂取基準（2020年版）」では、脂肪エネルギー比率（総脂質からの摂取エネルギーが総摂取エネルギーに占める割合）の目標量を、1歳以上の全年齢で（ B：エ 20～30 ）%としている。

※脂質は、効率のよいエネルギー源であり1g=9kcalで、エネルギーの貯蔵にも役立ちます。ほかに、細胞膜、血液や脳・神経など細胞の構成成分となります。また、脂質の摂取基準は、総エネルギーに占める脂質エネルギーの割合で示し、1歳未満の目安量は、0～5（月）は50%、6～11（月）は40%、1歳以上は目標量として20～30%としています。

## 問3 正解 2

- A・C・D ○ 適切です。  
B × 不適切です。「10年」ではなく「5年」です。

## 問4 正解 2

- Aーア      Bーウ      Cーイ

## 問5 正解 4

- A × 不適切です。「約5割」ではなく「約8割（77.8%）」です。  
B～D ○ 適切です。

## 問6 正解 1

乳児が乳首を吸う（ A：ア 吸てつ ）反射とその刺激は、間脳視床下部を経て脳下垂体へと伝わる。下垂体前葉から（ B：ウ プロラクチン ）が分泌されて乳汁の合成が促進され、下垂体後葉から（ C：オ エストロゲン ）が分泌され、乳汁を放出して射乳が起こる。また（ C：オ エストロゲン ）は子宮の筋肉を収縮させて、子宮の回復を促す。

## 問7 正解 1

- A・B・D ○ 適切です。  
C × 不適切です。幼児の体重1kg当たりのエネルギー・たんぱく質・鉄・カルシウムにおける食事摂取基準は成人の2～3倍です。成長期の幼児にとって特に重要な栄養素は、骨や筋肉を作り出すために必要なたんぱく質、カルシウム、リン、ビタミンDなどです。

## 問8 正解 5

- A × 不適切です。「時間を決めてあげることが多い」と回答した者の割合が56.3%と最も高いです。  
B × 不適切です。「1回」と回答した者の割合が最も高いです。  
    ※2回以上とっている者の割合は、2～3歳未満が最も高く（41.9%）、5歳以上が最も低い（28.9%）です。  
C ○ 適切です。

問9 正解 4

1～3・5 ○ 適切です。

4 × 不適切です。「約3割」ではなく「約4割」です。

問10 正解 4

A × 不適切です。「5項目」ではなく「7項目」です。

B・D ○ 適切です。

C × 不適切です。「2回」ではなく「3.5回」です。

問11 正解 3

- ・ 乳製品、緑黄色野菜、豆類、( A 小魚 ) などでカルシウムを十分に
- ・ 妊娠中の( B 体重増加 ) は、お母さんと赤ちゃんにとって望ましい量に
- ・ ( C たばことお酒の害 ) から赤ちゃんを守りましょう

問12 正解 1

A～C ○ 適切です。

D × 不適切です。そのような記述はありません。

問13 正解 2

A・B・D ○ 適切です。

C × 不適切です。「令和4～6年度」ではなく「令和3～7年度」です。

問14 正解 1

- ・ 子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や( A 食の循環・環境 ) への意識、調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員等との関わりや、( B 調理室 ) など食に関わる保育環境に配慮すること。
- ・ ( C 保護者 ) や地域の多様な関係者との連携及び協働の下で、食に関する取組が進められること。また、( D 市町村 ) の支援の下に、地域の関係機関等との日常的な連携を図り、必要な協力が得られるよう努めること。

問15 正解 4

1～3・5 ○ 適切です。

4 × 不適切です。そのような記述はありません。

問16 正解 2

1・3～5 ○ 適切です。

2 × 不適切です。そのような記述はありません。

「楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針～」の食育目標には、

- 1 お腹がすくリズムのもてる子ども
  - 2 食べたいもの、好きなものが増える子ども
  - 3 一緒に食べたい人がいる子ども
  - 4 食事づくり、準備にかかわる子ども
  - 5 食べものを話題にする子ども
- と記載されています。

問 17 正解 3

- A × 不適切です。「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」第5章「保育所（保育所の設備の基準の特例）」第32条の2に「当該保育所の満3歳以上の幼児に対する食事の提供について、保育所は特例として当該保育所外で調理し、搬入する方法により行うことができる」と記載されています。
- B～D ○ 適切です。

問 18 正解 5

- 1 × 不適切です。「3群」ではなく「4群」です。  
【1群】(たんぱく質) 魚・肉・卵・大豆製品  
【2群】(カルシウム) 牛乳・乳製品・海藻・小魚  
【3群】(カロテン) 緑黄色野菜  
【4群】(ビタミンC) 淡色野菜・果物  
【5群】(糖質性エネルギー) 穀類・イモ類・砂糖  
【6群】(脂肪性エネルギー) 油脂類
- 2 × 不適切です。「食事バランスガイド」は『主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物』を5つの料理区分に定めています。
- 3 × 不適切です。「授乳・離乳の支援ガイド」において、『離乳の開始前の子どもにとって、最適な栄養源は乳汁(母乳またはミルク)であり、離乳の開始前に果汁やイオン飲料を与えることの栄養学的な意義は認められていない』と記載されています。
- 4 × 不適切です。食物アレルギーの推奨品目の中に、オレンジ・キウイ・もも・りんご・バナナなどの果物が含まれています。
- 5 ○ 適切です。

問 19 正解 3

- A・B・D・E ○ 適切です。
- C × 不適切です。大量調理施設衛生管理マニュアルでは「調理後ただちに提供される食品以外の食品は、10℃以下または65℃以上で管理し、調理終了後から2時間以内に喫食することが望ましい」とされています。

問 20 正解 3

- A・C～E ○ 適切です。
- B × 不適切です。酸味の強い食品は、むせやすく誤嚥しやすいので、注意が必要です。

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子どもの保健

(選択式20問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル(HB～B)で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」2「養護に関する基本的事項」イ「情緒の安定」に関する記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。
- 2 一人一人の子どもが、くつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。
- 3 一人一人の子どもの発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながらも、食事は全員一斉に取るように設定する。
- 4 保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう、成長の過程を見守り、適切に働きかける。
- 5 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉かけを行う。

問2 次のうち、原始反射にあてはまらないものを一つ選びなさい。

- 1 吸てつ反射
- 2 膝蓋腱反射
- 3 把握反射
- 4 緊張性頸反射
- 5 モロー反射

問3 次のうち、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 新生児の体において、細胞内液と細胞外液から成る体液の割合は約80%である。
- B 乳児は、出生後に血中性ホルモン濃度が増加する。
- C 膵臓のランゲルハンス島には $\alpha$ 細胞と $\beta$ 細胞等があり、血糖値を調節するインスリンを分泌するのは $\beta$ 細胞である。
- D 体温を測る場合、腋窩温は口腔温より約1℃高い。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問4 次のうち、小児の生理機能の発達に関する記述として、適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 嚥下機能は、生後ほ乳をすることによって開始される。
- 2 胎児期の血液の流れ、すなわち胎児循環との違いとして、生後の血液の循環には、肺循環がある。
- 3 乳歯は生後石灰化が始まり、前歯は生後6～8か月頃に生え始める。
- 4 脳の機能は、胎児期から既に発達しており、出生時にはほぼ成熟している。
- 5 乳児では膀胱に尿が溜まると、その刺激が脳で感知され、脳細胞の指令で排尿がおこる。

問5 次の【I群】の発疹の種類と、【II群】の内容を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【I群】

- A 紅斑
- B 苔癬化<sup>たいせん</sup>
- C びらん
- D 丘疹
- E 痂皮

【II群】

- ア 皮膚表面より小さく盛り上がったブツブツで、風疹などでみられる。
- イ 膿や血液が乾燥して固まったもので、伝染性膿痂疹などでみられる。
- ウ 皮膚の毛細血管が拡張して赤色になっており、りんご病などでみられる。
- エ 皮膚組織が剥がれたり、破れてじめじめしており、ブドウ球菌の皮膚炎などでみられる。
- オ 湿疹が慢性化して表皮の肥厚が強まり皮膚表面がかさかさした状態になる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | ウ | イ | オ |
| 2 | ア | オ | イ | ウ | エ |
| 3 | ア | オ | ウ | イ | エ |
| 4 | ウ | エ | イ | ア | オ |
| 5 | ウ | オ | エ | ア | イ |

問6 次の文は、頭囲の計測法についての記述である。( A ) ~ ( D ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

乳幼児期は脳神経系の発育が急速に進む時期である。乳児では ( A ) の観察も行う。2歳未満の乳幼児はあおむけに寝かせ、2歳以上の幼児は座位または立位で計測する。計測者は一方の手で巻き尺の0点を持ち、他方の手で ( B ) を確認して、そこに巻き尺をあてながら前に回す。( C ) に巻き尺を合わせてその周径を1 ( D ) 単位まで読む。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	大泉門	両耳	眉と眉の間	cm
2	大泉門	後頭結節	眉と眉の間	mm
3	小泉門	両耳	前額の突出部	mm
4	大泉門	後頭結節	前額の突出部	cm
5	小泉門	後頭結節	前額の突出部	cm

問7 次のうち、感染症に関する記述として、適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、ムンプスウイルスが原因病原体であり、耳下腺の腫脹、痛み、発熱が主な症状である。合併症はなく、軽症で治癒する。
- 2 ポリオは、ポリオ菌によって起こり、脊髄の神経細胞が障害を受けて運動麻痺を起こす。
- 3 突発性発疹は、ヒトヘルペスウイルス6型及び7型が原因で主に乳幼児にみられる。高熱が3～5日続き、解熱とともに全身に淡紅色の細かい発疹が出現する。
- 4 風疹は、風疹ウイルスによって起こり、症状は麻疹に似ているが重症化しやすい。
- 5 結核は、主として結核菌が経口感染することによって起こる。

問8 次のうち、「保育所保育指針解説」（厚生労働省）第3章「健康及び安全」1「子どもの健康支援」（3）「疾病等への対応」⑤「与薬に関する留意点」に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所において保護者から預かった薬（座薬等を含む）を子どもに与える場合は、医師の診断及び指示による薬に限定する。
- B 保護者に医師名、薬の種類、服用方法等を具体的に記載した与薬依頼票を持参させる。
- C 保護者から預かった薬については、施設できる場所に保管し管理を徹底する。
- D 与薬をする際は、複数の保育士等で対象児を確認し、重複与薬や与薬量の確認、与薬忘れ等の誤りがないようにする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | ○ | × | × | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

問9 次のうち、生ワクチンに関する記述として、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 生ワクチンの接種回数は、すべて1回に限られる。
- B 液性免疫と細胞性免疫の両方が期待できる。
- C 注射生ワクチンを接種した日から次の注射生ワクチン接種を行うまでの間隔は、27日以上あける。
- D 副反応は数人に一人の割合で起こるものから、きわめてまれなものまで、様々である。
- E 妊婦に対しても接種することができる。

(組み合わせ)

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | A | B | C |
| 2 | A | B | D |
| 3 | A | D | E |
| 4 | B | C | D |
| 5 | B | C | E |

問 10 次のうち、「保育所保育指針」で示された「午睡」に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 午睡は生活のリズムを構成する重要な要素であり、安心して眠ることのできる安全な睡眠環境を確保するよう努める。
- B 在園時間が異なるなど、睡眠時間は子どもの発達の状況や個人によって差はあるが、午睡の時間は一律に取れるようにする。
- C 乳児については、一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。
- D 1歳以上3歳未満児については、食事や午睡、遊びと休息など、保育所における生活のリズムが形成されるようにする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | ○ | × | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問 11 次のうち、保育所における消毒薬の使用に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A プールの水の消毒には、原則、塩素系の消毒剤を用いることと定められている。
- B 嘔吐物の消毒に用いる次亜塩素酸ナトリウムと亜塩素酸水は、同じ調整濃度で使用する。
- C アルコール消毒液は、引火性があるため空間噴霧は禁じられている。
- D 床やドアノブを清掃する際、次亜塩素酸ナトリウムの希釈率は0.02%である。
- E 新型コロナウイルス感染症予防対策として、すぐに手洗いでできない状況では、濃度70%以上95%以下のエタノールを用いて手によくすりこむ。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ | × |

問 12 次の文は、「保育所保育指針」第3章「健康及び安全」4「災害への備え」(2)「災害発生時の対応体制及び避難への備え」の一部である。( A )～( C )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 火災や( A )などの災害の発生に備え、緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画等に関するマニュアルを作成すること。
- ・ 定期的に( B )を実施するなど、必要な対応を図ること。
- ・ 災害の発生時に、保護者等への連絡及び子どもの引渡しを円滑に行うため、日頃から保護者との( C )に努め、連絡体制や引渡し方法等について確認をしておくこと。

【語群】

ア 地震	イ 豪雨	ウ 防災訓練	エ 避難訓練
オ 密接な連携	カ 適切な関係作り		

(組み合わせ)

- A B C
- 1 ア ウ オ
  - 2 ア エ オ
  - 3 イ ウ カ
  - 4 イ エ オ
  - 5 イ エ カ

問 13 次のうち、保育所での感染症の集団発生の予防に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 学校感染症第二種に感染した場合は、保育所においても意見書または登園届の提出が義務付けられている。
- B 全ての感染症において流行の拡大の恐れがある期間は、隔離をすることや登園を控えてもらう。
- C ウイルスが体内に侵入してもその病気に対する感受性が低い人の場合は、感染しても症状が出ないことがある。
- D 麻疹や風疹の感染症が1週間以内に2人以上発生した場合は、施設長は市区町村や保健所に報告する義務がある。
- E 保育所の子どもや職員が感染症に罹患していることが判明した場合、子どもや職員の健康状態の把握や記録とともに、二次感染予防について保健所等に協力を依頼することは施設長の責務である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	×
2	○	×	○	○	×
3	×	○	○	×	○
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	○

問 14 次の記述のうち、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 誤嚥防止のため、幼児が食事中姿勢よく座っているか注意する。
- 2 傷病者発生時、傷病者を助けるために最初にする行動をファーストエイドという。
- 3 肘内障は幼児に多く、手が急に強く引っ張られたときに起こりやすい。
- 4 小児では、熱傷面積が全身の10%以上を占める場合は、救急車を要請する。
- 5 たばこの誤飲は、ニコチン中毒を起こす可能性があり、十分な水を飲ませて吐かせ、受診する。

問 15 次のうち、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019年改訂版）」（厚生労働省）の第Ⅰ部「基本編」1「保育所におけるアレルギー対応の基本」（3）「緊急時の対応（アナフィラキシーが起こったとき（「エピペン®」の使用))）」に関する記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 消化器症状として、繰り返し下痢をするようであれば、「エピペン®」の使用や119番通報による救急車の要請など、速やかな対応をすることが求められる。
- 2 呼吸器症状として、のどや胸が締め付けられる、声がかすれる、犬が吠えるような咳、持続する強い咳込み、ゼーゼーする呼吸、息がしにくいといった状態であれば、「エピペン®」の使用や119番通報による救急車の要請など、速やかな対応をすることが求められる。
- 3 全身の症状として、唇や爪が青白い、脈が触れにくい・不規則、意識がもうろうとしている、ぐったりしている、尿や便を漏らすといった状態であれば、「エピペン®」の使用や119番通報による救急車の要請など、速やかな対応をすることが求められる。
- 4 「エピペン®」を使用した後は、速やかに救急搬送し、医療機関を受診する必要がある。
- 5 「エピペン®」を保管する際は、日光のあたる場所や冷蔵庫等を避けて15～30℃で保管する。

問 16 次のうち、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版 [2022（令和4）年10月一部改訂]）」（厚生労働省）の2「感染症の予防」⑤「血液媒介感染」に関する記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 血液媒介感染する主な病原体は、B型肝炎ウイルス（HBV）、C型肝炎ウイルス（HCV）、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）等である。
- 2 ひっかき傷やすり傷、鼻血など、血液や傷口からの滲出液に周りの人がさらされる機会も多く、皮膚の傷を通して、病原体が侵入する可能性もある。
- 3 ひっかき傷等は流水できれいに洗い、絆創膏を貼らずによく乾かすようにする。
- 4 子どもの使用するコップ、タオル等には、唾液等の体液が付着する可能性があるため、共有しない。
- 5 全ての血液や体液には病原体が含まれていると考え、防護なく触れることがないように注意する。

問 17 次のうち、保育所での感染症に関する記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 乳児は成人に比べ鼻道や後鼻孔が狭く気道も細いため、風邪等で粘膜が腫れると息苦しくなりやすい。
- 2 動物に触れた後や動物を飼育している場所を清掃した後には、石鹸を用いた流水での手洗いを徹底する。
- 3 インフルエンザの主な感染経路は飛沫感染であるが、接触感染することもある。
- 4 保育所でのRSウイルス流行期は、特に異年齢間の交流を制限しない。
- 5 保育士等の職員は、自分が感染していることに気づかないまま感染源となることもあるので、職員の体調管理にも気を配る。

問 18 次のうち、食物アレルギーのある子どもの誤食事故が発生する危険性を低減化しうる対策として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食器の色を変える。
- B 給食対応の単純化（完全除去か全解除かの二者択一の対応）を原則とする。
- C 原因食物となる頻度の多い食材（鶏卵・牛乳・小麦等）を給食に使用しない献立を作成する。
- D 調理や配膳にあたっては、指差し声出し確認を徹底する。
- E ヒヤリ・ハット報告の収集及び要因分析を行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	×	○	○
3	○	×	○	○	×
4	×	○	×	×	○
5	×	×	×	○	○

問 19 次のうち、保育所における事故の応急処置に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの鼻に豆が入ってしまった。ピンセットでつまんで引っ張り出そうとした。
- B 捻挫をした。痛がる部位をよくもんだ。
- C 犬に咬まれた。傷口を流水で洗い、医師の診察を受けた。
- D 蜂に刺された。子どもが痛がるので無理に針を抜かず、医師の診察を受けた。
- E 誤って熱湯を子どもの手の甲にかけてしまった。すぐに冷水をかけた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	×
2	○	×	×	×	○
3	×	○	○	○	○
4	×	○	×	○	×
5	×	×	○	○	○

問 20 次のうち、子どものアレルギーに関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食物アレルギー対応においては、安全・安心の確保を優先する。
- B 気管支喘息の予防においては室内清掃だけではなく、特に寝具の使用に関しても、留意する必要がある。
- C 保育所における気管支喘息の対応においては、保護者との連携により、運動等の保育所生活について事前に相談する。
- D アレルギー性結膜炎において、角結膜炎があるときは、プールの水質管理のための消毒に用いる塩素が、その悪化要因となる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	×	○

# 子どもの保健

---

## 問1 正解 3

1・2・4・5 ○ 適切です。

3 × 不適切です。「保育所保育指針」には、一人一人の子どもの生活リズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。と記述されています。

## 問2 正解 2

1・3～5 ○ 原始反射です。

2 × 膝蓋腱反射は、伸張反射です。

## 問3 正解 2

A・C ○ 適切です。

B × 不適切です。「出生後」ではなく「思春期」です。

※第二次性徴は、性ホルモンの分泌量の増加によって起こります。男子は精巣・副腎から、女子は卵巣・副腎から、アンドロゲン、エストロゲン（卵胞ホルモン）、プロゲステロン（黄体ホルモン）が分泌されます。

D × 不適切です。腋窩温は口腔温より高いですが、約1℃高いというのは不適切です。

## 問4 正解 2

1 × 不適切です。嚥下機能は離乳を開始してから、少しずつ学び機能として獲得します。

2 ○ 適切です。

3 × 不適切です。乳歯は、妊娠4～6か月頃に始まり、歯冠(歯の頭の部分)は、生後1か月から1年の間に完成します。永久歯では、第一大臼歯が一番早く、生まれる時に石灰化を開始します。

4 × 不適切です。脳の機能は、3歳までに80%、6歳までに90%、12歳までに100%完成します。

5 × 不適切です。乳児では、尿意が感じ取れず、反射的に排尿をします。

## 問5 正解 5

A こうはん 紅斑ーウ

B たいせんか 苔癬化ーオ

C びらんーエ

D きゅうしん 丘疹ーア

E かひ 痂皮ーイ

## 問6 正解 2

乳幼児期は脳神経系の発育が急速に進む時期である。乳児では（ A 大泉門 ）の観察も行う。2歳未満の乳幼児はあおむけに寝かせ、2歳以上の幼児は座位または立位で計測する。計測者は一方の手で巻き尺の0点を持ち、他方の手で（ B 後頭結節 ）を確認して、そこに巻き尺をあてながら前に回す。（ C 眉と眉の間 ）に巻き尺を合わせてその周径を1（ D mm ）単位まで読む。

## 問7 正解 3

1 × 不適切です。合併症はあります。

2 × 不適切です。「ポリオ菌」ではなく「ポリオウイルス」です。

3 ○ 適切です。

4 × 不適切です。風疹は、発疹や発熱などの症状が現れることが多いですが、症状がなかったり気づかないほど軽いこともあります。

5 × 不適切です。「経口感染」ではなく「空気感染」です。

## 問8 正解 1

A～Dのすべて適切です。

問9 正解 4

- A × 不適切です。  
B～D ○ 適切です。  
E × 不適切です。妊娠中に生ワクチンは接種できません。

問10 正解 2

- A・C・D ○ 適切です。  
B × 不適切です。午睡の時間も、子ども一人一人の生活リズムに合わせて取れるようにします。

問11 正解 2

- A・C～E ○ 適切です。  
B × 不適切です。  
※亜塩素酸が主たる有効成分である「亜塩素酸水」は、次亜塩素酸水や次亜塩素酸ナトリウムとは違い、高い反応性は無く、瞬時に発揮されるような、効果(即効性)は持ち合わせていません。

問12 正解 2

- ・ 火災や（ A：ア 地震 ）などの災害の発生に備え、緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画等に関するマニュアルを作成すること。
- ・ 定期的に（ B：エ 避難訓練 ）を実施するなど、必要な対応を図ること。
- ・ 災害の発生時に、保護者等への連絡及び子どもの引渡しを円滑に行うため、日頃から保護者との（ C：オ 密接な連携 ）に努め、連絡体制や引渡し方法等について確認をしておくこと。

問13 正解 3

- A × 不適切です。登園届が必要かは、自治体や保育園のルールで決められています。  
B・C・E ○ 適切です。  
D × 不適切です。風疹は、1例でも発生すれば直ちに報告します。

問14 正解 5

- 1～4 ○ 適切です。  
5 × 不適切です。吐かせるために、水や牛乳を飲ませることは不適切です。すぐに病院を受診します。

問15 正解 1

- 1 × 不適切です。  
2～5 ○ 適切です。「下痢」ではなく「嘔吐」です。

問16 正解 3

- 1・2・4・5 ○ 適切です。  
3 × 不適切です。菌が入らないように絆創膏やガーゼなどで傷口を保護します。

問17 正解 4

- 1～3・5 ○ 適切です。  
4 × 不適切です。RSウイルスは、接触感染、飛沫感染で感染が広がる感染症なので、RSウイルス流行期は、異年齢間の交流は制限します。

問 18 正解 1

A～Eのすべて適切です。

※「保育所保育指針解説」第3章 1(3) ③【安全な給食提供環境の整備】

食物アレルギーのある子どもの誤食事故は、注意を払っていても、日常的に発生する可能性がある。食器の色を変える、座席を固定する、食事中に保育士等が個別的な対応を行うことができるようにする等の環境面における対策を行う。その上で、安全性を最優先とした、人為的な間違いや失敗についての対策を講じることが重要である。事前の体制整備として、給食対応の単純化（完全除去か全解除かの二者択一の対応）を原則とし、頻度の多い食材（鶏卵・牛乳・小麦等）を給食に使用しない献立を作成する、指差し声出し確認を徹底する、あと一步で事故になるところだったという、ヒヤリ・ハット報告の収集及び要因分析を行って事故防止のための適切な対策を講じるなどして、事故が発生する危険性の低減化に努める。

問 19 正解 5

A × 不適切です。誤って奥へ押し込んでしまう可能性があります。

B × 不適切です。安静にして、捻挫した部分を心臓より高く上げ、氷などで冷やします。

C～E ○ 適切です。

問 20 正解 1

A～Dのすべて適切です。

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子ども家庭福祉

(選択式20問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル(HB～B)で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「児童の権利に関する条約」第23条の一部である。( A ) ~ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

締約国は、精神的又は身体的な障害を有する児童が、その ( A ) を確保し、( B ) を促進し及び ( C ) を容易にする条件の下で十分かつ相応な生活を享受すべきであることを認める。

(組み合わせ)

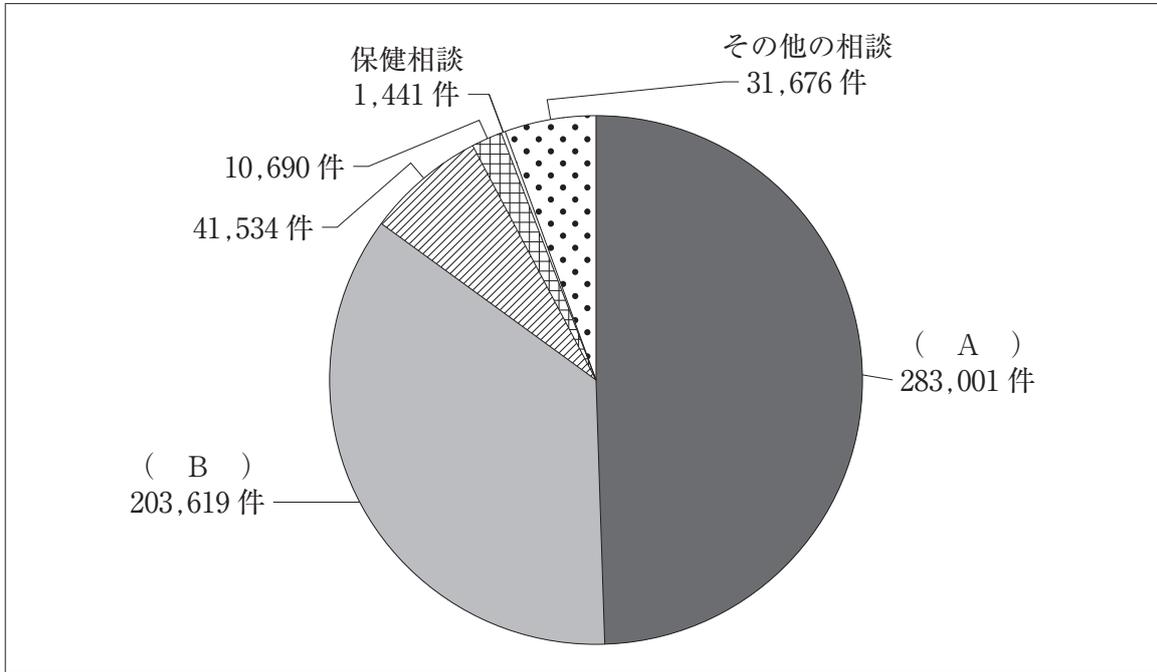
	A	B	C
1	尊厳	社会参加	自立
2	幸福	自立	意見表明
3	幸福	意見表明	社会への積極的な参加
4	尊厳	自立	社会への積極的な参加
5	尊厳	社会参加	意見表明

問2 次のうち、日本の児童福祉の歴史に関する記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 糸賀一雄は、第二次世界大戦後の混乱期に「近江学園」を設立し、園長に就任した。その後「びわこ学園」を設立した。「この子らを世の光に」という言葉を残したことで有名である。
- 2 野口幽香らは、東京麹町に「二葉幼稚園」を設立し、日本の保育事業の草分けの一つとなった。
- 3 岩永マキは、1887（明治20）年に「岡山孤児院」を設立した。
- 4 日本で最初の知的障害児施設は、1891（明治24）年に石井亮一が設立した「滝乃川学園」である。
- 5 留岡幸助は、1899（明治32）年に東京巣鴨に私立の感化院である「家庭学校」を設立した。

問3 次の図は、「令和3年度福祉行政報告例の概況」(2023(令和5)年 厚生労働省)の2021(令和3)年度中の児童相談所における相談の種類別対応件数の状況である。(A)・(B)にあてはまる相談種別の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【図】 児童相談所における相談の種類別対応件数



(組み合わせ)

- |   | A    | B    |
|---|------|------|
| 1 | 育成相談 | 障害相談 |
| 2 | 育成相談 | 養護相談 |
| 3 | 養護相談 | 障害相談 |
| 4 | 養護相談 | 育成相談 |
| 5 | 養護相談 | 非行相談 |

問4 次の文は、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」第2条の一部である。( A ) ~ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 子どもの貧困対策は、社会のあらゆる分野において、子どもの年齢及び発達の程度に応じて、その ( A ) が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、子どもが心身ともに健やかに育成されることを旨として、推進されなければならない。
- ・ 子どもの貧困対策は、子ども等に対する ( B ) の支援、生活の安定に資するための支援、職業生活の安定と向上に資するための就労の支援、経済的支援等の施策を、子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として、子ども等の生活及び取り巻く環境の状況に応じて包括的かつ早期に講ずることにより、推進されなければならない。
- ・ 子どもの貧困対策は、国及び ( C ) の関係機関相互の密接な連携の下に、関連分野における総合的な取組として行われなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	権利	教育	地方公共団体
2	権利	自立	地方公共団体
3	意見	教育	保護者
4	意見	教育	地方公共団体
5	意見	自立	保護者

問5 次のA～Eは、子ども家庭福祉に関する法律である。これらを制定年の古い順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 母子保健法
- B 児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律
- C 少子化社会対策基本法
- D 少年法
- E 児童福祉法

(組み合わせ)

- 1 A→E→D→C→B
- 2 D→A→B→E→C
- 3 D→E→A→B→C
- 4 E→A→D→C→B
- 5 E→D→A→B→C

問6 次の文は、「男女共同参画白書 令和4年版」(2022(令和4)年 内閣府)の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

家族の姿の変化を見てみると、昭和55(1980)年時点では、全世帯の6割以上を「(A)」(42.1%)と「(B)」(19.9%)の家族が占めていた。令和2(2020)年時点では、「(A)」世帯の割合は25.0%に、「(B)」世帯の割合も7.7%に低下している一方で、「(C)」世帯の割合が38.0%と、昭和55(1980)年時点の19.8%と比較して2倍近く増加している。また、子供のいる世帯が徐々に減少する中、「(D)」世帯は増加し、令和2(2020)年に「(B)」世帯の数を上回っている

(組み合わせ)

- |   | A     | B     | C       | D       |
|---|-------|-------|---------|---------|
| 1 | 夫婦と子供 | 夫婦のみ  | 単独      | 3世代等    |
| 2 | 夫婦と子供 | 3世代等  | 単独      | ひとり親と子供 |
| 3 | 夫婦と子供 | 3世代等  | ひとり親と子供 | 夫婦のみ    |
| 4 | 3世代等  | 夫婦のみ  | 夫婦と子供   | ひとり親と子供 |
| 5 | 3世代等  | 夫婦と子供 | 夫婦のみ    | ひとり親と子供 |

問7 次のうち、「令和4年版 厚生労働白書」（2022（令和4）年9月 厚生労働省）の保育人材に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 2020（令和2）年10月1日現在、保育士の登録者数は、150万人を超えている。
- B 保育士資格を有しながら保育所等で働いていない潜在保育士数は、2011（平成23）年から2020（令和2）年まで毎年減少している。
- C 保育士として就業した者が退職した理由として最も多いのは「職場の人間関係」である。
- D 潜在保育士が保育士として就業を希望しない理由として最も多いのは「賃金が希望と合わない」である。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問8 次の文は、ある児童福祉施設の目的に関する記述である。該当する児童福祉施設として、正しいものを一つ選びなさい。

不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行う。

- 1 児童自立支援施設
- 2 児童養護施設
- 3 児童厚生施設
- 4 児童家庭支援センター
- 5 児童心理治療施設

問9 次のうち、「令和3年（2021）人口動態統計（確定数）の概況」（2022（令和4）年 厚生労働省）に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 2021（令和3）年の婚姻件数は、2020（令和2）年に比べて増加している。
- B 2021（令和3）年の出生数は、2020（令和2）年に比べて減少している。
- C 2021（令和3）年の離婚件数は、2020（令和2）年に比べて増加している。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × |

問10 次のうち、「新子育て安心プラン」(2020(令和2)年12月21日 厚生労働省発表)に関する記述として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 2021(令和3)年度から2024(令和6)年度末までの4年間で約14万人分の保育の受け皿を整備する。
- 2 必要な方に適切に保育が提供されるよう、地域の課題を丁寧に把握しつつ、地域の特性に応じた支援を実施する。
- 3 保育士が生涯働ける魅力ある職場づくりを推進するとともに、職業の魅力を広く発信する。
- 4 できるだけ早く待機児童の解消を目指すとともに、男性(25～44歳)の就業率の上昇に対応する。
- 5 幼稚園・ベビーシッターを含めた地域のあらゆる子育て資源を活用する。

問11 次のうち、「民法」の一部として、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 親権を行う者は、子の財産を管理し、かつ、その財産に関する法律行為についてその子を代表する。ただし、その子の行為を目的とする債務を生ずべき場合には、本人の同意を得なければならない。
- B 親権を行う者は、子の利益のために子の監護及び教育をする権利を有し、義務を負う。
- C 親権を行う者は、監護及び教育のため、その子を懲戒することができる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ |

問 12 次のうち、障害児入所施設に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 福祉型障害児入所施設は、入所児童の保護、日常生活の指導及び独立自活に必要な知識技能の付与を目的としている。
- B 医療型障害児入所施設には、「医療法」に規定する病院として必要な設備のほか、訓練室及び浴室を設けることとされている。
- C 「令和3年社会福祉施設等調査の概況」(2022(令和4)年12月 厚生労働省)では、2021(令和3)年10月1日現在、福祉型障害児入所施設の在籍者数(人)は、医療型障害児入所施設の在籍者数(人)より多くなっている。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × |

問 13 次のうち、外国籍や外国にルーツをもつ家庭の子どもの保育に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育士は、それぞれの文化の多様性を尊重し多文化共生の保育を進めていくことが求められる。
- B 保育士は、特別な配慮を必要とする家庭の場合には、状況等に応じて個別の支援を行うよう努めることが求められる。
- C 保育士は、子どもの家庭の文化や宗教、生活習慣など、どの家庭にもあるそれぞれの文化を尊重する必要がある。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × |

問 14 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

児童養護施設で勤務するW保育士（女性）は、虐待を受けて入所しているRさん（12歳、女児）を担当している。施設での生活の中で職員に反抗的な態度をとることもあり、どのように対応していくべきか検討が続いていた。ある日、Rさんから、「絶対に誰にも言わないでほしい」と前置きされた上で、夜間ひとりである時にX児童指導員（男性）が、性的な話をしてくると相談された。X児童指導員はW保育士の先輩にあたり、W保育士も頼りにしてきた存在だった。

【設問】

次のうち、W保育士の対応として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 反抗的な態度をとることもあるRさんの発言は、X児童指導員への嫌がらせであると考え、Rさんの問題行動として記録に残す。
- 2 「誰にも言わないでほしい」というRさんの意向を尊重し、相談内容はW保育士の胸の内にとどめる。
- 3 被措置児童等虐待の疑いがあるため、速やかに児童相談所に通告する。
- 4 児童養護施設内でのことを外部に話すことは守秘義務違反となるため、施設内での情報共有にとどめる。
- 5 X児童指導員は信頼できる先輩であるため、Rさんの発言内容をまずはX児童指導員に確認する。

問 15 次のうち、被措置児童等虐待の予防のための取り組み例として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 職員のメンタルヘルスに対する配慮
- 2 「子どもの権利ノート」の作成、配布
- 3 ケアの孤立化・密室化の防止
- 4 第三者による定期的な意見聴取の機会の設定
- 5 問題行動をとる児童の早期の措置解除

問 16 次のうち、「児童福祉法」の保育士に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育士は、専門的知識及び技術をもって、児童の保育のみをおこなう。
- B 保育士は、正当な理由がなく、業務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。
- C 保育士でない者が保育士の名称を使用することは禁じられている。
- D 保育士は、保育士の信用を傷つけるような行為をしてはならない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問 17 次のうち、「児童発達支援ガイドライン」(平成 29 年 7 月 24 日 厚生労働省通知)に盛り込まれた提供すべき支援として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 発達支援
- B 家族支援
- C 地域支援

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | ○ | × | × |
| 5 | × | × | × |

問 18 次のうち、児童扶養手当制度に関する記述として、不適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童扶養手当の目的は、父または母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、児童の福祉の増進を図ることである。
- B 各年度の福祉行政報告例（厚生労働省）を見ると、児童扶養手当受給者総数は2012（平成24）年度末を境に減少に転じている。
- C 「令和3年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告（令和3年11月1日現在）」（2022（令和4）年厚生労働省）によると、児童扶養手当の受給状況は、母子世帯の母では「受給している」が46.5%、父子世帯の父では69.3%となっている。
- D 児童扶養手当は、2か月分ずつ年6回支払われる。
- E 児童手当を受給している場合、児童扶養手当を受給することはできない。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B D
- 4 C D
- 5 C E

問 19 次の【Ⅰ群】の地域子ども・子育て支援事業の概要と【Ⅱ群】の事業名を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 子ども及びその保護者が、確実に子ども・子育て支援給付を受け、及び地域子ども・子育て支援事業その他の子ども・子育て支援を円滑に利用できるよう、子ども及びその保護者の身近な場所において、地域の子ども・子育て支援に関する各般の問題につき、子どもまたは子どもの保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を総合的に行う事業
- B 養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師・助産師・保育士等がその居宅を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保することを目的とする事業
- C 保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設その他の施設に入所させ、または里親やその他の者に委託し、当該児童につき必要な保護を行う事業
- D 乳児または幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業
- E 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を、主として昼間において、保育所、認定こども園その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業

【Ⅱ群】

- ア 地域子育て支援拠点事業
- イ 養育支援訪問事業
- ウ 利用者支援事業
- エ 子育て短期支援事業
- オ 一時預かり事業

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | エ | オ | ウ |
| 2 | ア | ウ | オ | イ | エ |
| 3 | ウ | イ | ア | エ | オ |
| 4 | ウ | イ | エ | ア | オ |
| 5 | ウ | エ | イ | ア | オ |

問 20 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

5月中旬の月曜日に、放課後等デイサービスに勤めるK保育士は、Y君（6歳、男児）のランドセルや手提げ袋に、何日も洗濯をしないで汚れたままの給食袋や体操服が入っているのを見かけた。K保育士はこれまでもY君の荷物や身なりについて同様なことがあり気になっていた。今回の件で、不審に思ったK保育士はY君に汚れたままの給食袋や体操服が入っていることを尋ねると、Y君はあまり話したくない様子であった。しかし、しばらくするとY君は「週末はよく家にひとりであることが多い」と答えた。

**【設問】**

次のうち、K保育士の対応として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 不衛生なので汚れた給食袋や体操服を廃棄する。
- B Y君の状況を放課後等デイサービスの管理者に報告し、他の職員と情報を共有する。
- C 何日も洗濯していない給食袋や体操服があることについて、Y君を叱責する。
- D すぐにY君の保護者を呼び出し、給食袋や体操着を洗濯していないことを厳しく指導する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

# 子ども家庭福祉

## 問1 正解 4

締約国は、精神的又は身体的な障害を有する児童が、その（ A 尊厳 ）を確保し、（ B 自立 ）を促進し及び（ C 社会への積極的な参加 ）を容易にする条件の下で十分かつ相応な生活を享受すべきであることを認める。

## 問2 正解 3

1・2・4・5 ○ 適切です。

3 × 不適切です。設問は「石井十次」についての記述です。石井十次はルソーやバーナードの影響を受けた慈善事業家で、児童福祉の父と呼ばれています。1887（明治 20）年、日本初の児童養護施設である岡山孤児院を設立し、貧困児童や孤児達の救済に力を注ぎました。

岩永マキは長崎に現存する児童養護施設の中でも最古のものである「小部屋（現・浦上養育院）」の創設者の1人であり、孤児救済の先駆者、日本の福祉事業の礎を築いた女性ともされています。

## 問3 正解 3

児童相談所における相談の種類別対応件数「養護相談」が 283,001 件（構成割合 49.5%）と最も多く、次いで「障害相談」が 203,619 件（同 35.6%）、「育成相談」が 41,534 件（同 7.3%）となっています。

※今回は出題されませんでしたが、児童虐待の相談種別にみると、心理的虐待（構成割合約 6 割）、身体的虐待、ネグレクト、性的虐待の順に多いこともおさえておきましょう。

## 問4 正解 4

・ 子どもの貧困対策は、社会のあらゆる分野において、子どもの年齢及び発達の程度に応じて、その（ A 意見 ）が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、子どもが心身ともに健やかに育成されることを旨として、推進されなければならない。

・ 子どもの貧困対策は、子ども等に対する（ B 教育 ）の支援、生活の安定に資するための支援、職業生活の安定と向上に資するための就労の支援、経済的支援等の施策を、子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として、子ども等の生活及び取り巻く環境の状況に応じて包括的かつ早期に講ずることにより、推進されなければならない。

・ 子どもの貧困対策は、国及び（ C 地方公共団体 ）の関係機関相互の密接な連携の下に、関連分野における総合的な取組として行われなければならない。

## 問5 正解 5

E → D → A → B → C

A 1965 年 母子保健法

B 1999 年 児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律

C 2003 年 少子化社会対策基本法

D 1948 年 少年法

E 1947 年 児童福祉法

## 問6 正解 2

家族の姿の変化を見てみると、昭和 55(1980)年時点では、全世帯の 6 割以上を「（ A 夫婦と子供 ）（42.1%）」と「（ B 3 世代等 ）（19.9%）」の家族が占めていた。令和 2 (2020)年時点では、「（ A 夫婦と子供 ）」世帯の割合は 25.0%に、「（ B 3 世代等 ）」世帯の割合も 7.7%に低下している一方で、「（ C 単独 ）」世帯の割合が 38.0%と、昭和 55(1980)年時点の 19.8%と比較して 2 倍近く増加している。また、子供のいる世帯が徐々に減少する中、「（ D ひとり親と子供 ）」世帯は増加し、令和 2 (2020)年に「（ B 3 世代等 ）」世帯の数を上回っている

問7 正解 3

- A ○ 適切です。令和2年時点で167万3000人です（厚生労働省発表）。
- B × 不適切です。保育士資格を有しながら保育所等で働いていない潜在保育士数は、2011(平成23)年から2020(令和2)年まで毎年増加しています。
- C・D ○ 適切です。

問8 正解 1

- 1 × 不適切です。設問は「児童自立支援施設」についての記述です。
- 2～5 ○ 適切です。

問9 正解 4

- A × 不適切です。2021(令和3)年の婚姻件数は、2020(令和2)年に比べて減少しています。
- B ○ 適切です。
- C × 不適切です。2021(令和3)年の離婚件数は、2020(令和2)年に比べて減少しています。

問10 正解 4

- 1～3・5 ○ 適切です。
- 4 × 不適切です。そのような記述はありません。

問11 正解 2

- A・B ○ 適切です。
- C × 不適切です。2022(令和4)年12月の民法改正で懲戒権を認める第822条は削除されました。

問12 正解 2

- A・B ○ 適切です。
- C × 不適切です。「令和3年社会福祉施設等調査の概況」(2022(令和4)年12月 厚生労働省)では、2021(令和3)年10月1日現在、福祉型障害児入所施設の在り者数(人)は、医療型障害児入所施設の在り者数(人)より少なくなっています。

問13 正解 1

- A～Cのすべて適切です。

問14 正解 3

- 1 × 不適切です。Rさんの発言を嫌がらせと決めつけずに通告をします。
- 2 × 不適切です。被措置児童等虐待の疑いがあるため、速やかに通告します。
- 3 ○ 適切です。
- 4 × 不適切です。児童虐待の通告については守秘義務違反となりません。
- 5 × 不適切です。虐待を行っているかもしれないX児童指導員本人に直接確認することは、虐待をエスカレートさせる可能性があるため適切ではありません。

問15 正解 5

- 1～4 ○ 適切です。
- 5 × 不適切です。そのような記述はありません。

問16 正解 4

- A × 不適切です。「児童福祉法」第18条の4に「この法律で、保育士とは、第18条の18第1項の登録を受け、保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者をいう。」とあります。
- B～D ○ 適切です。

問 17 正解 1

A～Cのすべて適切です。

問 18 正解 5

A・B・D ○ 適切です。

C × 不適切です。児童扶養手当の受給状況は、父子世帯の父では「受給している」が46.5%、母子世帯の母では69.3%となっています。

E × 不適切です。要件を満たしていれば両方とも受給することができます。

問 19 正解 4

A－ウ      B－イ      C－エ      D－ア      E－オ

問 20 正解 3

A × 不適切です。汚れているからと言って勝手に廃棄してしまうことは不適切です。

B ○ 適切です。

C × 不適切です。何日も洗濯していない給食袋や体操服があることについて、Y君に非があるわけではないのでY君を叱責することは不適切です。

D × 不適切です。Y君の保護者にも事情があるかもしれないので、厳しく指導するのではなくまずは保護者の気持ちに寄り添うことが大切です。

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

社会的養護

(選択式10問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル(HB～B)で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、「児童福祉法」の一部として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 国及び地方公共団体は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。
- 2 国及び地方公共団体は、児童を家庭において養育することが困難であり又は適当でない場合は、できる限り良好な家庭的環境において継続的に養育されることを優先し、必要な措置を講じなければならない。
- 3 全て国民は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、児童が適切に養育され、その生活を保障し、愛され保護されるよう努めなければならない。
- 4 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。
- 5 都道府県は、児童の身近な場所における児童の福祉に関する支援等に係る業務を適切に行う。

問2 次のうち、「里親及びファミリーホーム養育指針」（平成24年3月 厚生労働省）の一部として、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会的養護を必要とする子どもを、養育者の家庭に迎え入れて養育する「家庭的養護」である。
- B 養育者の個人的な責任に基づいて提供される養育の場である。
- C 家庭内における養育上の課題や問題を解決し或いは予防するためにも、養育者は協力者を活用し、養育のありかたをできるだけ「ひらく」必要がある。
- D 里親制度は、養育里親、専門里親、養子縁組里親、親族里親の4つの類型の特色を生かしながら養育を行う。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問3 次のうち、社会的養護に関わる専門職に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童養護施設、児童心理治療施設、福祉型障害児入所施設には、保育士を置かなければならない。
- B 里親支援専門相談員は、里親会等と連携して、里親の新規開拓や里親委託の推進、里親への研修等を行う専門職であり、乳児院、児童養護施設、児童相談所に置かなければならない。
- C 心理療法を行う必要があると認められる児童が10人以上いる児童養護施設、児童自立支援施設には、心理療法担当職員を置かなければならない。
- D 虐待を受けた児童が10人以上いる乳児院、児童養護施設、児童自立支援施設には個別対応職員を置かなければならないが、虐待を受けた児童が10人未満の施設には任意で置くことができる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問4 次のうち、社会的養護の地域支援に関する記述として、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 短期入所生活援助（ショートステイ）事業の対象者は、疾病や疲労などにより家庭において児童を養育することが一時的に困難になった保護者の児童や、経済的問題等により緊急一時的に保護が必要になった母子等である。
- B 「新しい社会的養育ビジョン」（平成29年 厚生労働省）では、入所児童以外の地域の子育て家庭を支援する専門職として、乳児院と児童養護施設に地域支援専門相談員を配置することとされた。
- C 施設に入所する子どもの早期家庭復帰を支援するため、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設には、児童家庭支援センターを設置する義務がある。
- D 乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童心理治療施設及び児童自立支援施設の長は、その行う児童の保護に支障がない限りにおいて、当該施設の所在する地域の住民につき、児童の養育に関する相談に応じ、及び助言を行うよう努めなければならない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問5 次のうち、「社会的養育の推進に向けて」（令和4年 厚生労働省）における親子関係再構築支援に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 里親は養育の一貫性を担うという意味において、実親との再統合のための支援は行わない。
- B 親子関係再構築等の家庭環境の調整は、措置の決定・解除を行う市町村及び施設の役割である。
- C 子どもの生い立ちや親との関係について、自分の心の中で整理をつけられるよう、子どもに対する支援も必要である。
- D 里親支援専門相談員は、家庭復帰に向けて、親との面会や宿泊、一時的帰宅等を段階的に行う。
- E 暴力以外の方法を知らずにしつけと称して虐待をしてしまう親に対し、ペアレントトレーニング等を取り入れる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	×	×	○	×
3	×	○	○	○	×
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	○	○

問6 次のうち、「児童養護施設運営指針」（平成24年3月 厚生労働省）の自立支援およびアフターケアに関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 退所にあたっては、保護者の申し出を優先し、児童相談所と協議したうえで決定し、子どもに提示する。
- B 退所者の状況を把握し、退所後の記録を整備する。
- C アフターケアは施設の業務であり、退所後も施設に相談できることを伝える。
- D 施設退所者が集まれるような機会を設けたり、退所者グループの活動を支援し、参加を促す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

問7 次のうち、「児童養護施設運営指針」（平成24年3月 厚生労働省）の養育・支援に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにする。
- B 性についての話題は不安を引き出す可能性があるため、控える。
- C でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とする。
- D 行事などの企画・運営は職員が主体的にかかわり、子どもに指示をする。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問8 次のうち、小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 養育者は、保育士または児童指導員の資格が必要である。
- B 里親養育包括支援事業の支援対象である。
- C 養育者の他に補助者を配置することとされている。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × |

問9 次のうち、「児童福祉法」に基づく要保護児童の措置が採られる委託・入所先として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 乳児院
- 2 児童養護施設
- 3 母子生活支援施設
- 4 児童自立支援施設
- 5 里親

問10 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

Y君（10歳）は、乳児院に入所後、現在は児童養護施設で生活をしている。児童養護施設に入所後は、親との面会がない状態が続いている。同じ児童養護施設にいるZ君（9歳）は、親との面会交流があり、その都度、玩具を買ってもらう等、面会交流後、笑顔で居住スペースに戻ってくる。そんなZ君を見たY君は、Z君に対し暴言を吐いたり、いいがかりをつけるなど、Z君を困らせている。

**【設問】**

次のうち、児童養護施設におけるY君への対応として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 Z君の、親との面会の回数を減らす。
- 2 Z君とY君、どちらかを違う児童養護施設に移動させる。
- 3 Y君を厳しく指導する。
- 4 Y君へのライフストーリーワークの実施を検討する。
- 5 Y君へのスーパービジョンの実施を検討する。

# 社会的養護

---

## 問1 正解 4

- 1 × 不適切です。「国及び地方公共団体」ではなく「児童の保護者」です。
- 2 × 不適切です。正しくは「国及び地方公共団体は、児童が家庭において心身ともに健やかに養育されるよう、児童の保護者を支援しなければならない。ただし、児童及びその保護者の心身の状況、これらの者の置かれている環境その他の状況を勘案し、児童を家庭において養育することが困難であり又は適当でない場合にあつては児童が家庭における養育環境と同様の養育環境において継続的に養育されるよう、児童を家庭及び当該養育環境において養育することが適当でない場合にあつては児童ができる限り良好な家庭的環境において養育されるよう、必要な措置を講じなければならない。」です。
- 3 × 不適切です。「全て国民は、・・・」ではなく「全て児童は、・・・」です。
- 4 ○ 適切です。
- 5 × 不適切です。「都道府県」ではなく「市町村」です。

## 問2 正解 4

- A × 不適切です。「家庭的養護」ではなく「家庭養護」です。
- B × 不適切です。「社会的養護の養育は、家庭内の養育者が単独で担えるものではなく、家庭外の協力者なくして成立し得ない。養育責任を社会的に共有して成り立つものである」と記載されています。
- C・D ○ 適切です。

## 問3 正解 3

- A・C ○ 適切です。
- B × 不適切です。里親支援専門相談員を配置する施設は、里親支援を行う児童養護施設及び乳児院です。
- D × 不適切です。被虐待経験の有無に関わらず個別対応職員の配置は義務です。

## 問4 正解 2

- A・D ○ 適切です。
- B × 不適切です。そのような職員はいません。
- C × 不適切です。そのような義務規定はありません。

## 問5 正解 4

- A × 不適切です。「施設長及び里親等は、入所・委託児童やその保護者に対し、関係機関と連携しつつ、親子の再統合等のための支援を行わなければならない。」と記載されています。
- B × 不適切です。「親子関係の再構築等の家庭環境の調整は、措置の決定・解除を行う児童相談所の役割であるとともに、児童福祉施設最低基準に定められた施設の役割でもあり、施設は、児童相談所と連携しながら行う必要がある。」と記載されています。
- C・E ○ 適切です。
- D × 不適切です。「里親支援専門相談員」ではなく「家庭支援専門相談員」です。

## 問6 正解 4

- A × 不適切です。退所に当たって、ケース会議を開催し、子ども本人や保護者の意向を踏まえて、児童相談所や関係機関等と協議の上、適切な退所時期や退所後の生活を検討します。
- B～D ○ 適切です。

問7 正解 3

- A・C ○ 適切です。
- B × 不適切です。「子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設ける。」「・性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答える。」と記載されています。
- D × 不適切です。「日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援する。」「・行事などの企画・運営に子どもが主体的にかかわり、子どもの意見を反映させる。」と記載されています。

問8 正解 4

- A × 不適切です。このような規定はありません。  
「小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)実施要綱」第7「職員」(4)
- ① 養育里親として2年以上同時に2人以上の委託児童の養育の経験を有する者
  - ② 養育里親として5年以上登録し、かつ、通算して5人以上の委託児童の養育の経験を有する者
  - ③ 児童養護施設等において児童の養育に3年以上従事した者
  - ④ 1から3までに準ずる者として、都道府県知事が適当と認めた者。なお、1及び2については、平成21年4月1日より前における里親としての経験を含むものとする
- B・C ○ 適切です。

問9 正解 3

- 1・2・4・5 ○ 適切です。
- 3 × 不適切です。母子生活支援施設は、子育て支援を進めながら、母子の生活と自立を支援する施設です。

問10 正解 4

- 1・2 × 不適切です。Z君はこの件には無関係です。
- 3 × 不適切です。Y君を厳しく指導することは自尊心を傷つけることになるため不適切です。
- 4 ○ 適切です。ライフストーリーワークとは、子どもの生き立ちを、子どもと一緒に整理していくことをいいます。1950年代にアメリカで里親委託や養子縁組の準備として、ソーシャルワーカーが子どもの歴史を記した本を作成したのがその始まりであるとされています。ライフストーリーワークは、子ども自身が自分の人生を肯定的に受け止められるようにすることを目的としており、イギリスでは専任のライフストーリーを行う職員が行うことがあります(日本では児童福祉施設や児童相談所の職員、里親が行います)。ライフストーリーワークは養育に効果的な援助方法ですが、実施時期や子どもの状態・状況の検討、またライフストーリーワークを行う上での事前の情報収集などが重要であり、慎重に行う必要があります。「里親・ファミリーホーム養育指針ハンドブック」より抜粋
- 5 × 不適切です。スーパービジョンとは、援助者(スーパーバイザー)が、専門的な助言や知識を必要とするとき、主に指導者(スーパーバイザー)から助言等を受けることです。スーパービジョンの主な機能には、「教育的機能」と「支持的機能」と「管理的機能」があります。

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

社 会 福 祉

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、日本の社会福祉の基本的な考え方に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会福祉における自立支援は、障害者福祉の分野ばかりでなく、高齢者福祉、子ども家庭福祉の分野にも共通の理念と考えられている。
- B 私たち人間の幸福追求について、国が福祉政策によって関与することはない。
- C 「日本国憲法」では、生存権を保障するため、最低限度の生活に関する基準を示している。
- D 社会福祉における相談援助は、福祉サービスを必要とする人と社会資源を結びつける役割を果たす。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問2 次のうち、社会福祉の歴史的な事柄に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ベヴァリッジ報告では、貧困を生み出す5つの要因に対して、新たな社会保障システムを打ち出した。
- B 「新救貧法」(1834(天保5)年)では、窮民の援助は、最下層の労働者の生活以下にとどめ、働ける者には強制労働を課した。
- C 「恤救規則」(1874(明治7)年)では、血縁や地縁などの無い窮民に対してのみ公的救済を行ったが、救済の責任は、本来血縁や地縁などの人民相互の情誼によって行うべきであるとした。
- D 「救護法」(1929(昭和4)年)では、保護の対象を13歳以下の幼者のみと規定した。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問3 次のうち、子育て支援に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「保育所保育指針」には、保護者に対する子育て支援について示されている。
- B 保護者に対する支援を行う際の留意点の一つとして、子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知り得た事柄の秘密保持に留意することが挙げられる。
- C 保育所において、日常の保育に関連した様々な機会を活用し子どもの日々の様子の伝達や収集、保育所保育の意図の説明などを通じて、保護者との相互理解を図るように努めることとされている。
- D 地域子ども・子育て支援事業の実施は、子ども及びその保護者の身近な場所において行うとされている。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問4 次のうち、保護者支援・子育て支援に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子育ての相談にあたっては、保護者の話を頭から否定せずに、気持ちを受け止める姿勢を常に持つべきである。
- B 不適切な養育等が疑われる家庭への支援では、保護者の子ども観や、子育て意識・方法などへの介入が必要となることがある。
- C 家庭支援・子育て支援においては、親子と地域社会との関係を構築するという視点は、現状の地域社会における人間関係の希薄化現象を考えると、不要である。
- D 子育て環境の整備に関しては、出産を含む医療保障制度、各種手当、育児休業、保育所や幼稚園、認定こども園の整備など、家庭支援・子育て支援に関する制度環境の改善も重要である。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問5 次のうち、生活保護制度に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「生活保護法」では、保護の原則として、申請保護の原則、基準及び程度の原則、必要即応の原則、世帯単位の原則の4つを掲げている。
- B 「生活保護法」第11条で定めている保護の種類は、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助の8つがある。
- C 「生活保護法」による保護施設は、救護施設、更生施設、医療保護施設の3つである。
- D 令和4年版の「厚生労働白書」によると、生活保護制度の被保護者数は、1995（平成7）年を底に増加し、2015（平成27）年3月に過去最高を記録し、以降減少に転じたと示されている。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問6 次のうち、「社会福祉法」における施設の種別と事業の組み合わせとして、不適切なものを一つ選びなさい。

- |   | <施設>         | <事業>      |
|---|--------------|-----------|
| 1 | 児童自立支援施設     | 第一種社会福祉事業 |
| 2 | 特別養護老人ホーム    | 第一種社会福祉事業 |
| 3 | 授産施設         | 第二種社会福祉事業 |
| 4 | 視聴覚障害者情報提供施設 | 第二種社会福祉事業 |
| 5 | 地域活動支援センター   | 第二種社会福祉事業 |

問7 次のうち、社会福祉施設の職員について、国が定めているそれぞれの配置基準に照らし、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 障害者支援施設の職員配置基準に、生活支援員が含まれている。
- B 母子生活支援施設の職員配置基準に、少年を指導する職員が含まれている。
- C 補装具製作施設の職員配置基準に、訓練指導員が含まれている。
- D 養護老人ホームの職員配置基準に、生活相談員が含まれている。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問8 次のうち、社会保険に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 国民年金は、原則として日本国内に住所を有する18歳以上65歳未満の者が被保険者となる年金制度である。
- B 雇用保険は、雇用に関する総合的機能を有する保険制度であり、失業等給付、育児休業給付、雇用保険二事業（雇用安定事業及び能力開発事業）から成り立っている。
- C 国民健康保険及び健康保険には、保険給付として、高額療養費制度がある。
- D 介護保険の被保険者は、第一号被保険者と第二号被保険者と第三号被保険者の3つに大別されている。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問9 次のうち、相談援助の展開過程の中の「インテーク」に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A インテークでは、相談者から発せられた非言語的表現に左右されることなく、相談者の発言から困っていることを明らかにする。
- B インテークでは、信頼関係を形成するためにも、話しやすい雰囲気や環境を整える。
- C インテークで支援者は、相談者にどのような支援ができるのかを伝える。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ |

問10 次のうち、バイステック (Biestek, F.P.) の7原則の説明として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 利用者を個人として捉える。
- B 利用者を一方的に非難しない。
- C 援助者は自分の感情を自覚して吟味する。
- D 秘密を保持して信頼感を醸成する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問 11 次のうち、相談援助の方法・技術等に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ケアマネジメントとは、利用者に対して、効果的・効率的なサービスや社会資源を組み合わせ、計画を策定し、それらを利用者に紹介や仲介するとともに、サービスを提供する機関などと調整を行い、さらにそれらのサービスが有効に機能しているかを継続的に評価する等の一連のプロセス及びシステムである。
- B ソーシャルアクションとは、関係機関、専門職、住民と問題の解決に向けて、情報交換、学習、地域活動を通して相互の役割や違いを認め、既存の制度や組織の制約を超えて、多様かつ多元的な価値観や関係性をつくりあげていくことをいう。
- C ネットワーキングとは、行政や議会などに個人や集団、地域住民の福祉ニーズに適合するような社会福祉制度やサービスの改善、整備、創造を促す方法である。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | × |
| 3 | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ |
| 5 | × | × | × |

問 12 次のうち、ソーシャルワークの社会資源についての説明として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会資源とは、利用者等の問題解決やニーズを満たすために用いる、人的資源・物的資源・制度等の総称をいう。
- B フォーマルな社会資源には、家族、親戚、知人、近隣住民、ボランティアがある。
- C インフォーマルな社会資源には、行政や社会福祉法人によって提供されるサービスがある。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × |

問 13 次のうち、福祉サービスの第三者評価事業に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 第三者評価事業を受審することで、他の事業所や施設などとの優劣を示すことが目的である。
- B 福祉サービスの第三者評価事業の普及促進については、「福祉サービス第三者評価事業に関する指針」において市町村社会福祉協議会の義務であることが規定されている。
- C 福祉サービスの第三者評価事業を行う評価機関は、都道府県推進組織における第三者評価機関認証委員会から認証を受ける必要がある。
- D 福祉サービス第三者評価機関認証ガイドラインの策定・更新は、厚生労働大臣が実施する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問 14 次のうち、成年後見制度に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 成年後見制度は、「社会福祉法」を根拠として 2000（平成 12）年 4 月から施行された制度である。
- B 任意後見契約は、本人の判断能力が不十分になった場合に家族などの申し立てにより、家庭裁判所によって選任された後見人を決定、開始するもので、本人の判断能力の程度に応じて「補助人、保佐人、後見人」の 3 類型がある。
- C 法定後見制度は、利用契約制度のもとで自己決定など判断能力が不十分な高齢者や意思決定が難しい知的障害者及び精神障害者などの自己決定権を法的に保障する制度である。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ |

問 15 次のうち、福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 地域福祉権利擁護事業として開始され、2020（令和2）年度より日常生活自立支援事業に名称が変更された。
- B 認知症高齢者、精神障害者のうち判断能力が不十分な者を対象としており、知的障害者は対象外とされている。
- C 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）は、国庫補助事業として実施されている。
- D 住民の立場に立って相談に応じ、必要な支援を行う民生委員が実施主体とされている。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問 16 次のうち、福祉サービスにおける苦情解決に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 運営適正化委員会は、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するために設置するものである。
- B 苦情解決体制として、「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」（厚生労働省）では、苦情解決責任者及び苦情受付担当者、並びに第三者委員を示している。
- C 苦情解決に関するサービス事業者の自主的努力で解決が困難な場合は、市町村社会福祉協議会に設置された「運営適正化委員会」が苦情解決のためのあっせんや改善指導を行う。
- D 運営適正化委員会は、人格が高潔であって、社会福祉に関する識見を有し、かつ、社会福祉、法律又は医療に関し学識経験を有する者で構成される。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | ○ | × | ○ |
| 4 | ○ | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | × |

問 17 次の A～D は、子ども・子育て支援に関する施策である。これらを年代の古い順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「次世代育成支援対策推進法」が制定され、従業員の仕事と子育ての両立を図るために、事業主による行動計画の策定等が盛り込まれた。
- B 第3次「少子化社会対策大綱」が決定され、男性の育児休業取得率 13%等の数値目標が定められた。
- C 「重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について」（新エンゼルプラン）が策定され、計画の内容として母子保健等の整備なども加えられた。
- D 「子ども・子育てビジョン」が閣議決定され、父子家庭への児童扶養手当の支給等が具体的な施策として位置づけられた。

(組み合わせ)

- 1 A→B→C→D
- 2 C→A→D→B
- 3 C→D→B→A
- 4 D→A→B→C
- 5 D→C→A→B

問 18 次の文は、「社会福祉法」第4条に関する記述である。( A )～( C )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 地域福祉の推進は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、( A )する地域社会の実現を目指して行うこと。
- ・ 地域住民等は、地域福祉の推進に当たっては、福祉サービスを必要とする地域住民及びその世帯が抱える福祉、介護、介護予防、保健医療、住まい、就労及び教育に関する課題、福祉サービスを必要とする地域住民の地域社会からの( B )等の課題を把握すること。
- ・ 地域住民等は、地域福祉の推進に当たっては、( C )課題の解決に資する支援を行う関係機関との連携等によりその解決を図るよう留意すること。

【語群】

ア 包摂	イ 共生	ウ 相談支援	エ 排除	オ 孤立	カ 地域生活
------	------	--------	------	------	--------

(組み合わせ)

- A B C
- 1 ア エ ウ
- 2 ア エ オ
- 3 ア オ ウ
- 4 イ ウ カ
- 5 イ オ カ

問 19 次のうち、「2021（令和3）年 国民生活基礎調査の概況」（令和4年9月9日 厚生労働省）における2021（令和3）年の状況に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童のいる世帯のうち、核家族世帯は8割以上を占めている。
- B 児童のいる世帯は、全世帯の3割未満である。
- C 平均世帯人員は、3人未満である。
- D 65歳以上の者のいる世帯では、夫婦のみの世帯よりも、三世帯世帯が多い。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問 20 次のうち、多様化する地域生活課題に関する記述として、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」（文部科学省）によると、令和3年度における小学生・中学生の不登校児童生徒数は約25万人であり、平成24年度から令和3年度にかけて、9年連続で増加している。
- B 「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」では、ひきこもりについて、様々な要因の結果として社会的参加を回避し、原則的には1年以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態と定義している。
- C 「令和3年中における自殺の状況」（厚生労働省自殺対策推進室）によると、令和3年における自殺者数は約2万人であった。このうち女性の自殺者数は約7千人であり、令和2年から2年連続で増加している。
- D ヤングケアラーの行っているケアの内容として、家族に代わり、幼いきょうだいの世話をすることについては含まれていない。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

# 社会福祉

---

問1 正解 3

A・D ○ 適切です。

B × 不適切です。国も福祉政策に関与しています。

C × 不適切です。最低限度の生活に関する基準ではなく、最低限度の生活を営む権利を有しています。

問2 正解 1

A～C ○ 適切です。

D × 不適切です。対象者は65歳以上の老衰者、13歳以下の児童、妊産婦、障害のある者などで労働ができない者です。

問3 正解 1

A～Dのすべて適切です。

問4 正解 2

A・B・D ○ 適切です。

C × 不適切です。家庭支援・子育て支援において、親子と地域社会との関係を構築する必要があります。

問5 正解 1

A・B・D ○ 適切です。

C × 不適切です。救護施設、更生施設、医療保護施設、授産施設、宿所提供施設の5つです。

問6 正解 3

授産施設は、第1種社会福祉事業です。

※第1種福祉事業は利用者の保護の必要性が高い事業（入所施設サービスが主）、第2種社会福祉事業は公的規制の必要性が低い事業（在宅サービスが主）です。

問7 正解 1

A～Dのすべて適切です。

問8 正解 4

A × 不適切です。「18歳以上65歳未満」ではなく「20歳以上60歳未満」です。

B・C ○ 適切です。

D × 不適切です。「第一号」と「第二号」の2つに分けられています。

問9 正解 4

A × 不適切です。非言語的表現（表情、態度、目線、口調、沈黙など）にも相談者の思いが含まれていることもあるので、非言語的表現にも目を向けることが大切です。

言語的コミュニケーションのことを「バーバルコミュニケーション」、非言語的コミュニケーションのことを「ノンバーバルコミュニケーション」といいます。

B・C ○ 適切です。

問10 正解 1

A～Dのすべて適切です。

問 11 正解 2

- A ○ 適切です。
- B × 不適切です。「ソーシャルアクション」ではなく「ネットワーキング」です。ソーシャルアクションは、既存の福祉サービスでは解決できない時に、地域住民や問題を共有する当事者団体などが、新しい制度の創設や現行制度の改善を国や地方公共団体にはたらきかけたり、さらには広く市民にアピールして世論を喚起したりする技術です。
- C × 不適切です。「ネットワーキング」ではなく「ソーシャルアクション」です。ネットワーキングは、利用者のさまざまな福祉ニーズに対応できるよう、地域の関係機関・関係者が連携する体制をつくる方法です。

問 12 正解 3

- A ○ 適切です。
- B × 不適切です。フォーマルな社会資源には、デイサービス、ショートステイ、訪問介護などがあります。
- C × 不適切です。インフォーマルな社会資源には、民間による自由意志によるものであり、基本的に提供者と利用者の合意によって契約が成立し、サービスが開始されます。

問 13 正解 5

- A × 不適切です。「福祉サービス第三者評価事業は、個々の事業者が事業運営における問題点を把握し、サービスの質の向上に結びつけることを目的とするものであること。なお、福祉サービス第三者評価を受けた結果が公表されることにより、結果として利用者の適切なサービス選択に資するための情報となること。」「福祉サービス第三者評価事業に関する指針について」の全部改正について（厚生労働省通知）
- B × 不適切です。「社会福祉法第 78 条第 2 項では、国は、社会福祉事業の経営者が行う福祉サービスの質の向上のための措置を援助するために、福祉サービスの質の公正かつ適切な評価の実施に資するための措置を講ずるよう努めなければならないこととされており、福祉サービス第三者評価事業の普及促進等は、国の責務であること。」「福祉サービス第三者評価事業に関する指針について」の全部改正について（厚生労働省通知）
- C ○ 適切です。
- D × 不適切です。「厚生労働大臣」ではなく「全国社会福祉協議会（全社協）」です。

問 14 正解 5

- A × 不適切です。「社会福祉法」ではなく「民法」です。
- B × 不適切です。「任意後見契約」ではなく「法廷後見制度」です。
- C ○ 適切です。

問 15 正解 4

- A × 不適切です。2007(平成 19)年度より、厚生労働省通知により「日常生活自立支援事業」に名称が変更されました。
- B × 不適切です。「知的障害者」も対象とされています。
- C ○ 適切です。
- D × 不適切です。「民生委員」ではなく「都道府県社会福祉協議会及び指定都市社会福祉協議会」です。

問 16 正解 3

- A・B・D ○ 適切です。
- C × 不適切です。運営適正化委員会は、都道府県社会福祉協議会に設置されます。

問 17 正解 2

C → A → D → B

A : 2003(平成 15)年      B : 2015(平成 27)年      C : 1999(平成 11)年      D : 2010(平成 22)年

問 18 正解 5

- ・ 地域福祉の推進は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、( A : イ 共生 ) する地域社会の実現を目指して行うこと。
- ・ 地域住民等は、地域福祉の推進に当たっては、福祉サービスを必要とする地域住民及びその世帯が抱える福祉、介護、介護予防、保健医療、住まい、就労及び教育に関する課題、福祉サービスを必要とする地域住民の地域社会からの ( B : オ 孤立 ) 等の課題を把握すること。
- ・ 地域住民等は、地域福祉の推進に当たっては、( C : カ 地域生活 ) 課題の解決に資する支援を行う関係機関との連携等によりその解決を図るよう留意すること。

問 19 正解 1

- A ○ 適切です。児童のいる世帯のうち、核家族世帯は 82.6% を占めています。
- B ○ 適切です。児童のいる世帯は、全世帯の 20.7% です。
- C ○ 適切です。平均世帯人員は、2.37 人です。
- D × 不適切です。65 歳以上の者のいる世帯は、夫婦のみの世帯は 32.0%、三世代世帯は 9.3% で、夫婦のみの世帯のほうが多くなっています。

問 20 正解 4

- A ○ 適切です。「令和 3 年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」(文部科学省)によると、令和 3 年度における小学生・中学生の不登校児童生徒数は 244,940 人であり、9 年連続で増加しています。
- B × 不適切です。「1 年」ではなく「6 か月」です。
- C ○ 適切です。「令和 3 年中における自殺の状況」(厚生労働省自殺対策推進室・警察庁生活安全局生活安全企画課)によると、令和 3 年における自殺者数は 21,007 人でした。このうち女性の自殺者数は 7,068 人であり、令和 2 年から 2 年連続で増加しています。
- D × 不適切です。「家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている子ども」も含まれています。

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保育の心理学

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、ヒトの発達初期に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 馴化とは、乳児が信頼できる大人の表情を見て自らの行動に適用することをいう。
- B 子どもは養育者から養育行動を引き出すための様々な特徴をもっているが、幼児図式もその一つである。
- C 乳幼児期における養育者との関係は、その後の心身の健康や発達に影響を及ぼす。
- D 養育者からの呼びかけに対して、乳児がリズムカルに体を動かし、またそれに養育者が応答するエンタテインメントは、乳児期における養育者と子どもの関係づくりに貢献する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問2 次のうち、発達理論に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ジェンセン (Jensen, A.R.) は、人は経験によって変化しうるとし、行動主義の創始者となった。
- B ワトソン (Watson, J.B.) は、自分で自分の心の働きを振り返る、省察や内観をもとにした心理学研究の分野を確立した。
- C バンデューラ (Bandura, A.) は、条件づけをもとにした学習理論を社会的学習理論へと発展させ、人の行動を観察し、その人に罰や報酬が与えられるのを見たりすることによって、行動が変容することを実験によって明らかにした。
- D ゴールトン (Galton, F.) は、個人差の大部分が遺伝によるものであるとし、遺伝的に優れた人同士が数世代にわたって子孫を残すことで、人類は高い才能をつくり出しうると考えた。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問3 次のうち、発達を捉える方法に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 観察対象がそのままに生活や遊びをしている状況で観察を行う方法を、自然観察法という。
- B 条件や状況を操作・統制して観察を行う方法を、実験的観察法という。
- C 発達変化を捉えるために、同一の対象者を長期間にわたって調べる方法を、横断的方法という。
- D 調査したい事柄や目標はあるものの、具体的な質問は「○○について」というきっかけの質問に始まり、対象者の自由な語りを引き出すような面接を、非構造化面接という。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問4 次のうち、自己の発達に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ホフマン (Hoffman, M.L.) によれば、1歳頃までは自他の区別が未分化であり、他児が転んで泣くを見て、自分も泣きそうになるなど、他者に起こったことが自分自身に起こったことのように振る舞う。
- B 幼児期後半に社会的比較が可能になることにより、幼児期から学童期にかけて自己評価が否定的になり、自尊感情が低下する。
- C 乳児期前半に自分の手を目の前にかざし、その手をじっと見つめるというショーイングと呼ばれる行動がみられる。
- D 客体的自己の理解は、鏡に映った自分の姿を理解できるかという課題を用いて調べることができる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問5 次のA～Eは、「遠城寺式・乳幼児分析的発達検査（九州大学小児科改訂新装版）」の課題のうち「移動運動」の項目を抽出したものである。発達過程の中で出現する順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 足を交互に出して階段を上がる
- B 走る
- C 片足で2～3秒立つ
- D ボールを前にける
- E 幅とび（両足をそろえて前にとぶ）

（組み合わせ）

- 1 B→D→A→C→E
- 2 B→D→A→E→C
- 3 B→D→C→E→A
- 4 D→B→A→C→E
- 5 D→B→C→E→A

問6 次のうち、認知の発達に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 延滞模倣とは、自分の外部にある物理的対象である物に働きかけ、その結果として生じる感覚を楽しみ、それを再現しようとして繰り返すような行動をいう。
- B 最初期に出現する指さしは、他者から問われたことに指さしで応じる「応答の指さし」である。
- C ヒトは、生後間もない頃は母語にない音を区別できるが、生後6か月頃から、次第に母語にない音を区別できなくなる。例えば、日本語母語話者の場合、1歳頃には「L」と「R」の音の区別ができなくなる。
- D 脱中心化によって、複数の視点で物事を捉えることができるようになると、保育課題に正答できるようになる。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | × |

問7 次のA～Cの記述に該当する語句の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「ワンワン」という言葉を聞いて、目の前に「イヌ」がいなくても、頭の中に「イヌ」をイメージできる。
- B 子どもが生得的にもつ能力を引き出すように、環境からの刺激を養育者が調整することによって、子どもは言葉を獲得する、と考えた。
- C しりとりができるためには、示された言葉から正しく語尾音を抽出する能力と、定められた音を語頭音としてもつ単語を心的辞書から検索する能力が必要である。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	感覚機能	ブルナー (Bruner, J.S.)	音韻意識
2	感覚機能	ピアジェ (Piaget, J.)	普遍文法
3	象徴機能	ブルナー (Bruner, J.S.)	音韻意識
4	象徴機能	ピアジェ (Piaget, J.)	音韻意識
5	象徴機能	ピアジェ (Piaget, J.)	普遍文法

問8 次の文は、幼児の学びの過程に関する記述である。A～Dに関する用語を【語群】から選択した場合の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A 病院で、注射の痛みで泣く経験をした子どもが、医者が着ている白衣に似たものを見ただけで泣き出す。
- B 新入園児が、その保育所やクラスの行動様式を徐々に学び、身につけ、クラスに溶け込み、クラスの一員となっていく。
- C 保育者の手伝いをして褒められた子どもが、次からは、褒めてもらうために手伝いをしたがる。
- D 子どもが「昨日は家族で公園に行った」など、過去の自分の経験について話をする。

【語群】

ア 古典的条件づけ	イ 外発的動機づけ	ウ 正統的周辺参加	エ 手続き的記憶
オ 内発的動機づけ	カ エピソード記憶	キ 認知的徒弟制	ク 観察学習

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	ア	ウ	イ	カ
2	ア	ウ	オ	エ
3	ア	キ	イ	カ
4	ク	キ	イ	エ
5	ク	キ	オ	エ

問9 次の文は、発達と教育に関する記述である。( A ) ~ ( D ) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

教育と心的機能の発達の相互作用に関する理論の中で ( A ) は、子どもが自力で課題を解決できる限界である ( B ) 水準と、大人の援助や指導を受けることによって解決が可能となる ( C ) 可能水準があるとした。この二つの水準の間の領域を ( D ) と呼んだ。教育的働きかけは、この範囲に対してなされなければ子どもの発達に貢献できないし、また、教育は ( D ) を作り出すように配慮しなければならない。

【語群】

ア 固有の知識領域	イ ヴィゴツキー (Vygotsky, L.S.)
ウ ボウルビイ (Bowlby, J.)	エ 現時点での発達
オ 潜在的な発達	カ 発達の最近接領域

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | エ | オ | ア |
| 2 | イ | エ | オ | カ |
| 3 | イ | オ | エ | カ |
| 4 | ウ | エ | オ | カ |
| 5 | ウ | オ | エ | ア |

問 10 次のうち、青年期に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A エインズワース (Ainsworth, M.D.S.) によると、青年期の発達課題は自律性の獲得である。
- B 青年期の始まりは第二性徴が現れることで特徴づけられ、この時期は、ピアジェ (Piaget, J.) のいう形式的操作期から抽象的操作期への移行の時期である。
- C マーシア (Marcia, J.E.) のアイデンティティ・ステータスによると、親や年長者などの価値観を吟味することなく無批判に自分のものとして受け入れている状態を早期完了という。
- D 青年期後期の特徴として、ある領域に特化した知識やスキルを精力的に習得し、新しいものの見方や考え方、技能を習得していく「熟達化」があげられる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問 11 次のうち、高齢期に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A コンボイモデルによると、高齢者の社会生活における人間関係は、補充や修正を行うことができず減少していくとされている。
- B バルテス (Baltes, P.B.) によると、高齢期は決して何かを失うばかりではなく、喪失することで失ったものの重要性を実感し、状況へ適応することを模索しながら、新たなものを得ようとまた挑戦していく過程であるとされている。
- C エリクソン (Erikson, E.H.) は、高齢期は人格を完成させることが発達課題であり、これまでの自分の人生に意義と価値を見出すことができることを「自我の統合」とした。
- D キャッテル (Cattell, R.B.) らによると、知能には、結晶性知能と流動性知能があり、経験と強く関係する結晶性知能は生涯にわたって伸び続ける。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問 12 次の文は、子どもの生活環境を捉える考え方の特徴を示したものである。この考え方を提唱した人物として正しいものを一つ選びなさい。

- ・ 子どもが所属し、多様な経験をする場として家庭、保育所、地域などがあるとした。
- ・ きょうだいの誕生や就学など、人生の出来事が影響を及ぼすとした。
- ・ しつけとして重視する内容は各家庭で異なっても、文化として共通する面もあるとした。
- ・ 人間を取り巻く環境を入れ子構造として捉えた。

- 1 コールバーグ (Kohlberg, L.)
- 2 フェスティンガー (Festinger, L.)
- 3 ブロンフェンブレンナー (Bronfenbrenner, U.)
- 4 バルテス (Baltes, P.B.)
- 5 ブルーナー (Bruner, J.S.)

問13 次のうち、親になることに関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 親になることによる変化は、母親だけに生じるわけではなく、父親でも子育てをすることで親としての自覚、人間としての成熟、ストレスを感じる事がみられる。
- B エリクソン (Erikson, E.H.) によれば、成人後期の「親密性 対 孤立」は、私的な親子関係を超えて、次の世代やより広い社会へと広がり、成熟していく。
- C 養護性 (ナーチュランス) とは、対人関係能力の一つとして、人との関わりの中で獲得され、大人になっても、子どもとの関わりの中で親自身の発達としてさらに発展する。
- D 養護性 (ナーチュランス) とは、「相手の健全な発達を促進するために用いられる共感性と技能」として捉えられる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問14 次のうち、子どもの貧困に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 生存に必要な食料や衣服、衛生、住居など、人間としての最低限の生存条件を欠くような貧困を相対的貧困という。
- B 子どもの相対的貧困は、学習環境や、塾などの学校外での学習の機会を奪い、それらが複雑に絡みあって、学業達成に影響を及ぼす。
- C 「2019年国民生活基礎調査」によれば、子どものいるひとり親世帯の約半数が相対的貧困の状態にある。そのため子どもが進学を諦めて就職したり、親が多くのお仕事をかけもちしたりしなければならない状況が考えられる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ |

問 15 次のうち、中年期の危機に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 先端技術や情報化社会の急激な進展、終身雇用制や年功序列制の揺らぎ・崩壊など、職場環境の急激な変化は、職業人に、様々なストレスと職場不適應をもたらしている。
- B 子育てが一段落する中年期に至って、これまで親密な関係性を育ててこなかった夫婦は、夫婦共通の目標を失う。長い結婚生活を経た中高年の離婚は「熟年離婚」といわれる。
- C 親子関係においては、親は、子どもの自立にともなう親役割の喪失感、すなわち「心理的離乳」とよばれる不安定感が存在する。
- D 中年期の危機を契機として、これまでの生き方の見直しや、将来の生き方への模索をすることによって、自分の生活や働き方の修正が行われるプロセスは、「アイデンティティの拡散」と捉えられる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問 16 次のうち、低出生体重児に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 出生体重が1,500グラム未満の児を低出生体重児と呼び、その中でも、1,000グラム未満の児を極低出生体重児、700グラム未満の児を超低出生体重児と呼ぶ。
- B 出産後に母親の胸元で乳児と肌を触れ合わせるレスパイトケアは、子どもの発達、母子相互作用、愛着形成の促進などの効果が指摘されている。
- C 超低出生体重児は予定日よりも3～4か月も早く生まれ、医療ケアのため長期の入院を余儀なくされる。その間、母子分離の状態におかれるため、母子の愛着形成不全が生じる危険性がある。
- D 低出生体重児の母親は、小さく産んだ自責の念や、罪悪感、子どもの状態や治療に不安や緊張などのネガティブな気持ちをもって子育てに向かうことがある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問 17 次のうち、子どもの心の健康に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 選択性緘黙とは、DSM-5によれば、他の状況で話しているにもかかわらず、話すことが期待されている特定の社会的状況（例：学校）において、話すことが一貫してできない症状をいう。
- B 起立性調節障害は、起立に伴う循環動態の変化に対応できず、低血圧や頻脈を起こし、症状が強いと失神することがある。小学校入学前頃に発症し、1年以上持続する。
- C 自閉スペクトラム症については、心の理論説、実行機能説、中枢性統合説などによって説明されてきたが、どれか一つの理論のみで説明することは難しいとされている。
- D 限局性学習症は、勉強ができない子ども一般をさすものであり、子どもの読み書きや計算における二つ以上の能力の低さを必ず併発するものである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問 18 次のうち、児童虐待に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 虐待が疑わしい段階では通告義務はないが、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに都道府県、市町村の福祉事務所や児童相談所に通告しなければならない。
- B 2019（令和元）年公布、2020（令和2）年施行の「児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）」の改正では、親権者による体罰の禁止、児童虐待の再発防止を目的とした医学的または心理学的知見に基づく保護者の指導などを定めた。
- C 「令和2年度福祉行政報告例」によると、児童虐待相談における主な虐待者は「実母」が最も多く、次いで「実父」が多い。
- D 不適切な養育を表すマルトリートメントは、過保護や過干渉、年齢不相応な厳しい教育など、子どもの健全な成長を阻害するような養育態度や環境を広く含むものである。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問 19 次の文は、保育場面でみられる幼児の行動についての記述である。A～Dの行動の基盤となる社会的発達に関する用語を【語群】から選択した場合の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A 泣いている他児に近づき、その子の頭をなでながら自分のハンカチを差し出す。
- B 10か月児が、はじめての場所でどのように行動してよいかわからないので保育士の表情を見る。
- C お店屋さんごっこで、それぞれがレジ係と客になり、やりとりをしている。
- D グループ対抗の大縄跳び競争に勝とうと、グループでの練習に欠かさず参加している。

【語群】

ア 向社会的行動	イ 道徳判断	ウ 役割取得	エ 安全基地
オ 社会的参照	カ 模倣	キ 対人葛藤	ク 帰属意識

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | ウ | キ |
| 2 | ア | オ | ウ | ク |
| 3 | イ | エ | ウ | ク |
| 4 | イ | エ | カ | キ |
| 5 | イ | オ | カ | ク |

問 20 次のうち、「保育所保育指針解説」(厚生労働省)における就学に向けた移行期に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 就学時期の子どもの心理的不安を軽減させる目的で、長時間の着席や文字や数を習得するなど小学校教育の先取りをすることは有効である。
- B 卒園を迎える年度の子どもが、小学校の活動に参加するなどの交流活動を行うことは、就学に向けて自信や期待を高め、極端な不安を感じないようにする効果がある。
- C 保育所児童保育要録は、小学校における基礎学力の資料として、一人一人の子どもが育ってきた過程を振り返り、指導の経過をまとめたものである。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | × |
| 3 | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ |
| 5 | × | × | × |

# 保育の心理学

---

## 問1 正解 3

- A × 不適切です。設問は「社会的参照」についての記述です。「馴化」は、ある刺激が繰り返されることでその刺激に対して徐々に反応しなくなっていく現象のことを言います。
- B～D ○ 適切です。

## 問2 正解 5

- A × 不適切です。設問はワトソンについての記述です。ジェンセンは、遺伝と環境は相互に関係しあい、環境要因がある水準(閾値)を超えると、遺伝要因が発揮されるという「環境閾値説」を唱えました。
- B × 不適切です。設問はヴントについての記述です。ヴントは世界初の心理学実験室を設立しました。「心理学の父」と呼ばれています。
- C・D ○ 適切です。

## 問3 正解 1

- A・B・D ○ 適切です。
- C × 不適切です。設問は「縦断的方法」についての記述です。横断的方法は特定の時点で複数の対象者を調べる方法のことです。

## 問4 正解 3

- A・D ○ 適切です。
- B × 不適切です。設問は「学童期後半」についての記述です。
- C × 不適切です。「ショーイング」ではなく「ハンド・リガード」です。「ショーイング」とは、物をかざして人に見せる行動のことをいいます。

## 問5 正解 1

B → D → A → C → E

- A 2歳3か月～2歳6か月頃の項目です。
- B 1歳4か月～1歳6か月頃の項目です。
- C 2歳9か月～3歳頃の項目です。
- D 1歳9か月～2歳頃の項目です。
- E 3歳4か月～3歳8か月頃の項目です。

## 問6 正解 4

- A × 不適切です。「延滞模倣」は、観察した相手の行動を時間が経ってから模倣することです。
- B × 不適切です。最初期に出現する指さしは、自分が発見したものを見てもらうために行う「叙述の指さし」です。12か月頃から見られます。「応答の指さし」は1歳半頃から見られます。
- C・D ○ 適切です。

## 問7 正解 3

Aーオ      Bーア      Cーイ      Dーウ

## 問8 正解 1

Aーア      Bーウ      Cーイ      Dーカ

問9 正解 2

教育と心的機能の発達に関する理論の中で（ A：イ ヴィゴツキー (Vygotsky, L. S.) ）は、子どもが自力で課題を解決できる限界である（ B：エ 現時点での発達 ）水準と、大人の援助や指導を受けることによって解決が可能となる（ C：オ 潜在的な発達 ）可能水準があったとした。この二つの水準の間の領域を（ D：カ 発達の最近接領域 ）と呼んだ。教育的働きかけは、この範囲に対してなされなければ子どもの発達に貢献できないし、また、教育は（ D：カ 発達の最近接領域 ）をつくり出すように配慮しなければならない。

問10 正解 5

- A × 不適切です。エリクソン (Erikson, E. H.) によると、青年期の発達課題は同一性（自我同一性、アイデンティティ）の確立です。自律性の獲得が発達課題として挙げられるのは幼児期前期です。また、エインズワース (Ainsworth, M. D. S.) はストレンジ・シチュエーション法を唱えた人物です。
- B × 不適切です。「形式的操作期から抽象的操作期」ではなく、「具体的操作期から形式的操作期」です。
- C・D ○ 適切です。

問11 正解 4

- A × 不適切です。「コンボイモデル」は、一個人を中心とした人間関係などのネットワークを円状に表したものです。高齢者の社会生活における人間関係は、環境などの変化によって増減します。
- B～D ○ 適切です。

問12 正解 3

Bronfenbrenner (U.) の「生態学的システム」についての記述です。

- 1のコールバーグ (Kohlberg, L.) は、アメリカの心理学者です。人間の道徳的判断に注目した道徳性発達理論を提唱しました。道徳的判断の発達について研究するために「モラルジレンマ」と呼ばれる方法を採用しました。
- 2のフェスティンガー (Festinger, L.) は、アメリカの心理学者です。「認知的不協和理論」を提唱しました。
- 4のバルテス (Baltes, P. B.) は、「生涯発達心理学」を提起しました。生涯発達を常に獲得（成長）と喪失（衰退）が混合して起こる過程であるにとらえ、生涯における可塑性と限界を明らかにしました。衰えの多い老年期でも発達の可能性を明確にし、新たな視点をもたらしました。
- 5のブルーナー (Bruner, J. S.) は、アメリカの心理学者・教育学者で「発見学習」の提唱者です。著書に『教育の過程』があります。

問13 正解 2

- A・C・D ○ 適切です。
- B × 不適切です。設問は「成人初期」についての記述です。成人後期の発達課題と危機は「世代性（生殖性）対 自己陶酔（自己感溺、自己耽溺、自己吸収）」です。

問14 正解 4

- A × 不適切です。「相対的貧困」は、その人の属する国や地域に暮らす人々の生活水準と比較して、大多数より貧しい状態のことです。
- B・C ○ 適切です。

問 15 正解 1

- A・B ○ 適切です。
- C × 不適切です。設問は「空の巣症候群」についての記述です。心理的離乳は、青年期（思春期）にみられる、親からの精神的離脱や自立のことです。
- D × 不適切です。設問は「アイデンティティの再体制化（再構築、再確立）」についての記述です。アイデンティティの拡散は、青年期（思春期）にみられる、新たなアイデンティティを再構築していく中で自分が何者であるか分からなくなってしまう状態のことです。

問 16 正解 5

- A × 不適切です。出生体重が 2,500 グラム未満 の児を低出生体重児と呼び、その中でも、1,500 グラム未満 の児を極低出生体重児、1,000 グラム未満 の児を超低出生体重児と呼びます。
- B × 不適切です。設問は「カンガルーケア」の説明です。レスパイトケアは、介護者が一時的に息抜きができるように支援することです。
- C・D ○ 適切です。

問 17 正解 2

- A・C ○ 適切です。
- B × 不適切です。「小学校入学前頃」ではなく「小学校高学年から中学生」です。
- D × 不適切です。「限局性学習症」は、全体的な知能にはとくに異常がみられず障害等もないが「読む」「書く」「計算する」といったある特定の領域のみが苦手である発達障害のことです。

問 18 正解 4

- A × 不適切です。虐待が疑わしい場合にも通告義務があります。「児童虐待防止法」第6条
- B～D ○ 適切です。

問 19 正解 2

- Aーア      Bーオ      Cーウ      Dーク

問 20 正解 3

- A × 不適切です。そのような記述はありません。
- B ○ 適切です。
- C × 不適切です。保育所児童保育要録は、小学校への引き継ぎ資料として、保育園での成長や発達、指導の過程、その他特記事項などを記したものです。主に最終年度（年長）の1年間について記入します。

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 原 理

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、日本の保育制度に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 1948（昭和23）年、文部省は「保育要領」を刊行したが、これは、幼稚園のみならず保育所や家庭にも共通する手引きとして作成された。
- B 1991（平成3）年、「幼稚園と保育所との関係について」という通知が文部省、厚生省の局長の連名で出された。その中で、保育所のもつ機能のうち、教育に関するものは、幼稚園教育要領に準ずることが望ましいことなどが示された。
- C 現在も保育所は託児を行い、幼稚園は教育を行うなどその保育内容の基本はまったく違うものとなっている。
- D 幼保連携型認定こども園は、国、地方公共団体、学校法人、社会福祉法人及び株式会社のみが設置することができる。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問2 次のうち、「保育所保育指針」についての記述として、あてはまらないものを一つ選びなさい。

- 1 現行の「保育所保育指針」は、厚生労働大臣告示として定められたものであり、規範性を有する基準としての性格をもつ。
- 2 「保育所保育指針」は、1955（昭和30）年に策定され、1990（平成2）年、1999（平成11）年と2回の改訂を経た後、2018（平成30）年の改定に際して告示化された。
- 3 各保育所は、「保育所保育指針」に規定されている事項を踏まえ、それぞれの実情に応じて創意工夫を図り、保育を行うとともに、保育所の機能及び質の向上に努めなければならない。
- 4 各保育所では、「保育所保育指針」を日常の保育に活用し、社会的責任を果たしていくとともに、保育の内容の充実や職員の資質・専門性の向上を図ることが求められる。
- 5 保育所にとどまらず、小規模保育や家庭的保育等の地域型保育事業及び認可外保育施設においても、「保育所保育指針」の内容に準じて保育を行うこととされている。

問3 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」1「乳児保育に関わるねらい及び内容」の一部である。( A ) ～ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育士等との ( A ) 関係に支えられて生活を確立していくことが人と関わる基盤となることを考慮して、子どもの多様な感情を受け止め、温かく ( B ) 的・( C ) 的に関わり、一人一人に応じた適切な援助を行うようにすること。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	信頼	受容	応答
2	愛着	共感	協応
3	愛着	共感	応答
4	愛着	受容	応答
5	信頼	受容	協応

問4 次のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「ねらい」は、子どもが保育所において安定した生活を送り、充実した活動ができるように、保育を通じて育みたい資質・能力を、子どもの生活する姿から捉えたものである。
- B 「内容」は、「ねらい」を達成するために、子どもの生活やその状況に応じて保育士等が適切に行う事項と、保育士等が援助して子どもが環境に関わって経験する事項を示したものである。
- C 保育における「養護」とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりのことである。
- D 保育における「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるために保育士等が行う発達の援助のことである。
- E 「保育の内容」では、主に養護に関わる側面からの視点が示されており、実際の保育においても、教育より養護を優先して展開されることに留意する必要がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	○	×	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	×	×	×
5	×	×	○	○	○

問5 次のうち、保育所における保育士の子どもへの対応として、「保育所保育指針」第1章「総則」、第2章「保育の内容」に照らし、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 1歳児が他児に噛みついた時に、その子の手をつねり、いけないことだと伝えた。
- B 悔しくて涙を流している4歳児に「赤ちゃんみたいに泣かないの」と伝えた。
- C 5歳児が昼食のおかわりを希望しても「前日に昼食を残したからあげることはできない」と伝えた。
- D 2歳児が園外での散歩の際、車道に出ようとするのをとっさに後ろから抱きかかえて止めた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	×	×
2	×	○	×	×
3	×	×	○	×
4	×	×	×	○
5	×	×	×	×

問6 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」3「3歳以上児の保育に関するねらい及び内容」の一部である。(A)～(C)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもが、遊びの中で周囲の(A)と関わり、次第に周囲の世界に(B)を抱き、その意味や操作の仕方に関心をもち、物事の法則性に気付き、自分なりに考えることができるようになる(C)を大切にすること。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	人	探究心	過程
2	人	疑問	経験
3	環境	探究心	経験
4	環境	好奇心	過程
5	自然	好奇心	過程

問7 次の表は、「保育所保育指針」第1章「総則」4「幼児教育を行う施設として共有すべき事項」(1)「育みたい資質・能力」をまとめたものである。表中の( )にあてはまるものを一つ選びなさい。

表

知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする
学びに向かう力、人間性等	( )

- 1 友達と豊かに関わる中で、協同的に作ったり、表現したりする
- 2 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする
- 3 小学校に向けて、自ら考え、自ら学習に取り組もうとする
- 4 見通しをもって物事を考え、問題解決しようとする
- 5 自らの意思を強くもち、葛藤経験からも自らの力で乗り越えようとする

問8 次のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」4「保育の実施に関して留意すべき事項」の一部として、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの心身の発達及び活動の実態などの個人差を踏まえるとともに、一人一人の子どもの気持ちを受け止め、援助すること。
- B 子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で行う活動を見守るだけでなく、子どもに対して、保育士等が先回りして援助を行うこと。
- C 子どもの入所時の保育に当たっては、できるだけどの子どもにも同じ対応をし、子どもが安定感を得て、次第に保育所の生活になじんでいくようにするとともに、既に入所している子どもに不安や動揺を与えないようにすること。
- D 子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるようにすること。

(組み合わせ)

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   | A | B | C | D |
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問9 次のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」(4)「保育の環境」に照らし、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子ども自身の興味や関心が触発され、好奇心をもって自ら関わりたくなるような、子どもにとって魅力ある環境を保育士等が構成することが重要である。
- 2 保育の環境の構成に当たっては、複数の友達と遊べる遊具やコーナーなどを設定するとともに、物の配置や子どもの動線などに配慮することが重要である。
- 3 保育室は、温かな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動できる場となるように配慮すること。
- 4 衛生や安全について確認するための体制を整えるなど、子どもが安心して過ごせる保育の環境の確保に保育所全体で取り組んでいく必要がある。
- 5 子どもは人的環境である大人の影響を受けやすいため、保育士等との関わりができるだけ最小限となるよう配慮する必要がある。

問 10 次の保育所の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

10月のある日、週1回の園庭開放に、脳性まひの障害があるNちゃん（3歳、女兒）と母親が来所した。母親からの話では、Nちゃんは脳性まひの障害があり、週1回歩行の訓練で児童発達支援センターに通っており、食事前や寝る前にたんの吸引が必要であることがわかった。少し緊張している様子のNちゃんだったが、保育士に笑顔を見せたり、砂場のままごと道具に興味を示す姿も見られた。母親からは、新年度からNちゃんがこの保育所で集団生活を送ることを希望していて、継続して園庭開放に来たいといった言葉が聞かれた。

**【設問】**

次のうち、保育所の対応として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A Nちゃんに障害があることから保育所での生活は難しいと母親にまず伝える。
- B 研修を受けた保育士は、たんの吸引などの医療的ケアができることを伝え、この保育所での対応に関する情報提供を行う。
- C 母親の了解を得ていないが、Nちゃんの様子を聞くため児童発達支援センターに連絡する。
- D Nちゃんや母親の様子を観察し、把握した結果を職員間で共有し、今後、この親子にどのように関わるかを話し合う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問 11 次の【Ⅰ群】の記述と、【Ⅱ群】の人名を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 経営する工場の労働者とその家族のために教育施設を開設し、そこに「幼児学校」をおいた。
- B 最も恵まれない子どもを豊かに育む方法こそ、すべての子どもにとって最良の方法であるとする考えに基づき、「保育学校」を創設し、医療機関との連携を図って保育を進めた。

【Ⅱ群】

- ア デューイ (Dewey, J.)
- イ オーエン (Owen, R.)
- ウ マクミラン (McMillan, M.)
- エ オーベルラン (Oberlin, J.F.)

(組み合わせ)

- |   | A | B |
|---|---|---|
| 1 | ア | イ |
| 2 | イ | ア |
| 3 | イ | ウ |
| 4 | エ | ア |
| 5 | エ | ウ |

問 12 次のうち、保育所が行う一時預かり事業に関して「保育所保育指針」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 家庭での様子などを踏まえ、一人一人の子どもの心身の状態などを考慮して保育することが求められる。
- B 一人一人の子どもの家庭での生活と保育所における生活との連続性に配慮する必要がある。
- C 子どもが無理なく過ごすことができるよう、必要に応じて午睡の時間を設けたり、子どもがくつろぐことのできる場を設けたりするなど、一日の流れや環境を工夫することが大切である。
- D 一日の生活の流れに慣れることを考え、保育所で行っている活動や行事に参加することは避けるように配慮する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	×	○	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問 13 次の文は、「保育所保育指針」第5章「職員の資質向上」の一部である。( A ) ～ ( E )  
にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所においては、保育の内容等に関する ( A ) 等を通じて把握した、保育の質の向上に向けた課題に ( B ) に対応するため、( C ) の改善や保育士等の役割分担の見直し等に取り組むとともに、それぞれの ( D ) や職務内容等に応じて、各職員が必要な知識及び ( E ) を身につけられるよう努めなければならない。

【語群】

ア 自己評価	イ 職位	ウ 柔軟	エ 保育方法	オ 組織的
カ 保育内容	キ 技術	ク 能力	ケ 研修	コ 技能

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | エ | ク | コ |
| 2 | ア | ウ | カ | イ | キ |
| 3 | ア | オ | カ | イ | コ |
| 4 | ケ | ウ | カ | ク | キ |
| 5 | ケ | オ | エ | ク | キ |

問 14 次の保育所の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

L君は、9月から3歳児クラスに入所し、保育所での生活は4日目である。昼食後の午睡では、担当保育士が絵本を読み終えると、他の子どもたちは自分の布団に横になるが、L君は自分の布団に横になっても、すぐに起き上がってカーテンにもぐって外を見たりする。担当保育士が近づくと、L君はカーテンから顔をのぞかせて担当保育士に笑いかけるが、またカーテンにもぐる。しばらくして、担当保育士が「L君、ねようね」と声をかけ、L君は布団に横になる。L君は、「ママは?」と聞き、担当保育士は「おしごとだよ」と答えると、L君はまた起き上がってカーテンにもぐる。「せんせい、カーテンにいる子がいるよ」と担当保育士に伝える子どももいる。担当保育士がもう一度「ねようね」と声をかけると、「ねないよ」と答える。時々、自分の布団にうつぶせになってみたりもするが、カーテンを引っ張ってみたり、なかなか落ちつかない様子である。担当保育士がそばで寝たふりをして、L君は起き上がり、担当保育士にいろいろと話しかける。結局、L君はほとんど眠らずにおやつの時間になった。

【設問】

次のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」、第2章「保育の内容」に照らし、L君への担当保育士の対応として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 他の子どもの迷惑になるので、明日からは午睡の時間は眠るようL君にしっかり伝える。
- B L君にとって新しい環境で眠れるようになるには、もう少し時間がかかると考えられるため、しばらく様子を見ていく。
- C L君が安心して眠ることができるよう、なるべく午睡の時間はL君のそばにいて必要に応じて話しかけに応じるなどリラックスできるように関わる。
- D L君の保護者には、新しい環境でなかなか眠らなかったことを伝え、家での様子を聞く。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×

問 15 次のうち、「保育所保育指針」第 1 章「総則」 3 「保育の計画及び評価」に照らし、全体的な計画の作成に続く保育の計画及び評価の過程として、A～Dを並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 評価を踏まえた計画の改善
- B 保育内容等の評価
- C 指導計画の展開
- D 指導計画の作成

(組み合わせ)

- 1 A→B→C→D
- 2 B→A→C→D
- 3 C→B→D→A
- 4 D→B→A→C
- 5 D→C→B→A

問 16 次のうち、「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」 2 「1 歳以上 3 歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食事や午睡、遊びと休息など、保育所における生活のリズムが形成される。
- B 走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。
- C 友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。
- D 身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。
- E 保育所における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ | ○ |

問 17 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」 3 「保育の計画及び評価」(2)「指導計画の作成」の一部である。( A ) ～ ( E ) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの発達 ( A ) や障害の状態を把握し、適切な ( B ) の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、( C ) 計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した ( D ) のための計画を ( E ) に作成するなど適切な対応を図ること。

【語群】

ア 段階	イ 環境	ウ 柔軟	エ 支援
オ 指導	カ 過程	キ 個別	ク 保育

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | オ | ク | ウ |
| 2 | ア | イ | ク | エ | キ |
| 3 | ア | ク | エ | オ | ウ |
| 4 | カ | イ | オ | エ | キ |
| 5 | カ | ク | エ | オ | キ |

問 18 次の文は、「児童の権利に関する条約」第 27 条の一部である。( A ) ~ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- 1 締約国は、児童の身体的、精神的、道徳的及び社会的な発達のための相当な ( A ) についてのすべての児童の権利を認める。
- 2 父母又は児童について責任を有する他の者は、自己の能力及び資力の範囲内で、児童の発達に必要な生活条件を確保することについての ( B ) 責任を有する。
- 3 締約国は、国内事情に従い、かつ、その能力の範囲内で、1 の権利の実現のため、父母及び児童について責任を有する他の者を援助するための適当な措置をとるものとし、また、必要な場合には、特に栄養、衣類及び住居に関して、( C ) 及び支援計画を提供する。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	教育環境	一定程度の	緊急避難所
2	生活水準	第一義的な	物的援助
3	文化水準	全面的な	保健衛生
4	教育環境	第一義的な	保健衛生
5	生活水準	全面的な	物的援助

問 19 次のうち、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」(昭和 23 年厚生省令第 63 号)において、保育所の職員として、位置づけられているものを○、位置づけられていないものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 調理員
- B 事務員
- C 保育士
- D 嘱託医

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問 20 次の表は、年齢区分別の保育所等利用児童の人数と割合（保育所等利用率）を示したものである。この表を説明した記述として、正しいものを一つ選びなさい。ただし、ここでいう「保育所等」は、従来の保育所に加え、平成 27 年 4 月に施行した子ども・子育て支援新制度において新たに位置づけられた幼保連携型認定こども園等の特定教育・保育施設と特定地域型保育事業（うち 2 号・3 号認定）を含むものとする。

表 年齢区分別の就学前児童数に占める保育所等利用児童数の割合（保育所等利用率）

	令和 4 年 4 月	令和 3 年 4 月
3 歳未満児（0～2 歳）	1,100,925 人（43.4%）	1,105,335 人（42.1%）
うち 0 歳児	144,835 人（17.5%）	146,361 人（17.5%）
うち 1・2 歳児	956,090 人（56.0%）	958,974 人（53.7%）
3 歳以上児	1,628,974 人（57.5%）	1,636,736 人（56.0%）
全年齢児計	2,729,899 人（50.9%）	2,742,071 人（49.4%）

（保育所等利用率：当該年齢の保育所等利用児童数 ÷ 当該年齢の就学前児童数）

出典：厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和 4 年 4 月 1 日）」（令和 4 年 8 月 30 日発表）

- 1 令和 4 年 4 月の全年齢児の保育所等利用児童数は前年と比べて増えており、保育所等利用率も前年と比べて高くなっている。
- 2 令和 4 年 4 月の保育所等利用率は、0 歳児、1・2 歳児、3 歳以上児のすべてにおいて前年と比べて低くなっている。
- 3 令和 4 年 4 月の 3 歳未満児の保育所等利用率は、同年の 3 歳以上児の保育所等利用率と比べて高い。
- 4 令和 4 年 4 月において、前年と比べて最も保育所等利用率が増えたのは 1・2 歳児である。
- 5 令和 4 年 4 月の全年齢児の保育所等利用率は 50% を超えており、3 歳未満児、3 歳以上児別にみても、保育所等利用率はともに 50% を超えている。

# 保育原理

---

## 問1 正解 3

- A ○ 適切です。  
B × 不適切です。保育所に収容する幼児のうち、幼稚園該当年齢の幼児のみを対象としています。  
C × 不適切です。幼稚園でも延長保育を行っている施設も増えています。  
D × 不適切です。国、地方公共団体、学校法人又は社会福祉法人のみ設置できます。

## 問2 正解 2

- 1・3～5 ○ 記述の通りです。  
2 × あてはまりません。1965(昭和40)年に策定され、1990(平成2)年、2000(平成12)年、2008(平成20)年と3回の改訂を経た後、約10年ぶりの2017(平成29)年に改訂が告示され、2018(平成30)年に施行されました。

## 問3 正解 1

保育士等との( A 信頼 ) 関係に支えられて生活を確立していくことが人と関わる基盤となることを考慮して、子どもの多様な感情を受け止め、温かく( B 受容 ) 的・( C 応答 ) 的に関わり、一人一人に応じた適切な援助を行うようにすること。

## 問4 正解 1

- A～D ○ 適切です。  
E × 不適切です。「保育の内容」では、主に教育に関わる側面からの視点を示しているが、実際の保育においては、養護と教育が一体となって展開されることに留意する必要がある、と記載されています。「保育所保育指針」第2章「保育の内容」

## 問5 正解 4

- A × 不適切です。一方的に噛みつきはいけないことだと叱るのではなく、子どもの気持ちに寄り添いながらも、「噛みつく」という行為は友達を傷つけてしまうことであるということを伝えます。  
B × 不適切です。負けたあとに大泣きしていたら「悔しかったね」と共感する声かけを繰り返し、子どもの気持ちに寄り添う関わりを徹底することが大切です。  
C × 不適切です。5歳児に自分が食べれる量の把握は難しいです。あまりに厳しいとご飯食べるのが嫌いになってしまうので、子どもの食べたい気持ちを尊重することが大切です。  
D ○ 適切です。

## 問6 正解 4

子どもが、遊びの中で周囲の( A 環境 ) と関わり、次第に周囲の世界に( B 好奇心 ) を抱き、その意味や操作の仕方に関心をもち、物事の法則性に気付き、自分なりに考えることができるようになる( C 過程 ) を大切にすること。

## 問7 正解 2

「保育所保育指針」第1章「総則」4「幼児教育を行う施設として共有すべき事項」(1) 育みたい資質・能力 ア(ウ)

## 問8 正解 3

- A・D ○ 適切です。  
B × 不適切です。「子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で行う活動をも守りながら、適切に援助すること」と記載されています。「保育所保育指針」第2章「保育の内容」4「保育の実施に関して留意すべき事項」(1) 保育の実施に関わる配慮事項 ウ

- C × 不適切です。「子どもの入所時の保育に当たっては、できるだけ個別に対応し、子どもが安定感を得て、次第に保育所の生活になじんでいくようにするとともに、既に入所している子どもに不安や動揺を与えないようにすること」と記載されています。「保育所保育指針」第2章「保育の内容」4「保育の実施に関して留意すべき事項」(1)保育の実施に関わる配慮事項 エ

問9 正解 5

- 1～4 ○ 適切です。  
5 × 不適切です。「子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境を整えること。」とあるため、「保育士等との関わりができるだけ最小限となるよう配慮する」は誤りです。「保育所保育指針」第1章「総則」(4)「保育の環境」

問10 正解 4

- A × 不適切です。平成28年の児童福祉法の改正により、「地方公共団体は、人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児が、その心身の状況に応じた適切な保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を受けられるよう、保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を行う機関との連絡調整を行うための体制の整備に関し、必要な措置を講ずるよう努めなければならない」（「児童福祉法」第56条の6第2項）となりました。  
B・D ○ 適切です。  
C × 不適切です。母親の了解を得ずに児童発達支援センターに連絡することは不適切です。

問11 正解 3

- Aーイ Bーウ

アのデューイ (Dewey, J.) は『学校と社会』(1899年)、『民主主義と教育』(1916年)の著者です。経験主義・実験主義を教育の基本原則と考えており、わが国の大正自由教育の時代と今日の生活科や総合的な学習の時間にも影響を与えています。

イのオーベルラン (Oberlin, J. F.) はフランスの牧師です。世界最古の保育士施設を設立したとされており、その後、国外にも影響を及ぼしました。

問12 正解 1

- A～C ○ 適切です。  
D × 不適切です。そのような記述はありません。

問13 正解 3

保育所においては、保育の内容等に関する（ A：ア 自己評価 ）等を通じて把握した、保育の質の向上に向けた課題に（ B：オ 組織的 ）に対応するため、（ C：カ 保育内容 ）の改善や保育士等の役割分担の見直し等に取り組むとともに、それぞれの（ D：イ 職位 ）や職務内容等に応じて、各職員が必要な知識及び（ E：コ 技能 ）を身につけられるよう努めなければならない。

問14 正解 4

- A × 不適切です。昼寝は健やかな成長のために大切ですが、「毎日必ずにやらないと絶対にいけないこと」というわけではありません。午前中に活発に遊ばせる、昼寝しやすい環境づくりに気を配るなどの工夫をし、それでも寝ない場合はその旨をL君の保護者に伝え相談して、昼寝をするかしないかを定めることが大切です。  
B～D ○ 適切です。

問15 正解 5

- D → C → B → A

問 16 正解 2

A・B・D ○ 適切です。

C・E × 不適切です。設問は、3「3歳以上児の保育に関するねらい及び内容」に関する記述です。

問 17 正解 4

障害のある子どもの保育については、一人一人の子どもの発達（ A：カ 過程 ）や障害の状態を把握し、適切な（ B：イ 環境 ）の下で、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、（ C：オ 指導 ）計画の中に位置付けること。また、子どもの状況に応じた保育を実施する観点から、家庭や関係機関と連携した（ D：エ 支援 ）のための計画を（ E：キ 個別 ）に作成するなど適切な対応を図ること。

問 18 正解 2

1 締約国は、児童の身体的、精神的、道徳的及び社会的な発達のための相当な（ A 生活水準 ）についてのすべての児童の権利を認める。

2 父母又は児童について責任を有する他の者は、自己の能力及び資力の範囲内で、児童の発達に必要な生活条件を確保することについての（ B 第一義的な ）責任を有する。

3 締約国は、国内事情に従い、かつ、その能力の範囲内で、1の権利の実現のため、父母及び児童について責任を有する他の者を援助するための適切な措置をとるものとし、また、必要な場合には、特に栄養、衣類及び住居に関して、（ C 物的援助 ）及び支援計画を提供する。

問 19 正解 3

A・C・D ○ 適切です。

B × 不適切です。「保育所には、保育士（特区法第12条の5第5項に規定する事業実施区域内のある保育所にあつては、保育士又は当該事業実施区域に係る国家戦略特別区域限定保育士。次項において同じ。）嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する施設にあつては、調理員をいおかないことができる、記載があります。「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」第5章 保育士 第33条

問 20 正解 4

1 × 不適切です。令和4年4月の全年齢児の保育所等利用児童数は前年と比べ減少しており、保育所等利用率は前年と比べて高くなっています。

2 × 不適切です。令和4年4月の保育所等利用率は、0歳児は前年に比べて同じで、1・2歳児、3歳児は前年に比べて高くなっています。

3 × 不適切です。令和4年4月の3歳未満児の保育所等利用率は、同年の3歳以上児の保育所利用等と比べて低いです。

4 ○ 適切です。

5 × 不適切です。令和4年4月の全年齢児の保育所利用率は50%を超えており、年齢別に保育所等利用率を見ると、3歳未満児は43.4%、3歳以上児は57.5%です。

令和5年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保育実習理論

(選択式20問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル(HB～B)で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の曲の伴奏部分として、A～Dにあてはまるものの正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	ア	エ	ウ	イ
2	イ	エ	ア	ウ
3	ウ	イ	エ	ア
4	エ	ア	エ	イ
5	エ	イ	ア	ウ

問2 次のA～Dの音楽用語の意味を【語群】から選んだ場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A mp
- B D.C.
- C cresc.
- D cantabile

【語群】

ア	とても弱く	イ	おわり	ウ	だんだん遅く	エ	やわらかく
オ	歌うように	カ	もとの速さで	キ	少し弱く	ク	だんだん強く
ケ	はじめに戻る	コ	音の間を切れ目なくつなぐ				

(組み合わせ)

- A B C D
- 1 ア イ カ コ
- 2 ア ウ ク エ
- 3 エ ケ カ オ
- 4 キ イ ウ コ
- 5 キ ケ ク オ

問3 次の楽譜からマイナーコード（短三和音）を抽出した正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ア                    イ                    ウ                    エ                    オ                    カ

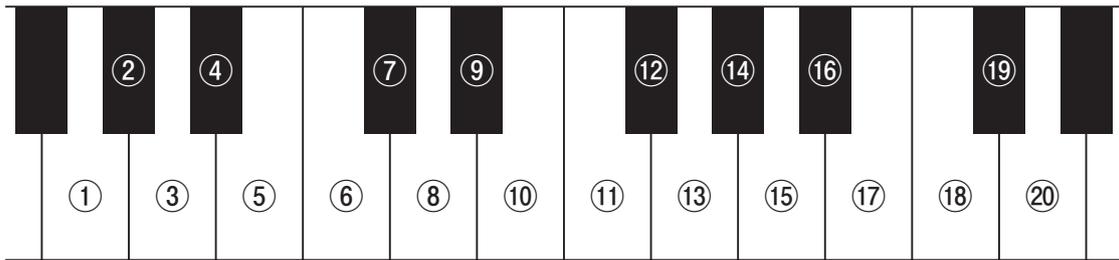
The musical staff shows six chords in a sequence from left to right: 1. A major (A, C#, E), 2. E minor (E, G, B), 3. D minor (D, F, A), 4. B minor (B, D, F), 5. G# minor (G#, B, D), and 6. C major (C, E, G).

(組み合わせ)

- 1 ア イ エ
- 2 ア ウ エ
- 3 ア エ オ
- 4 イ ウ オ
- 5 イ エ カ

問4 次の曲を5歳児クラスで歌ってみたところ、最低音が歌いにくそうであった。そこで短3度上げて歌うことにした。その場合、A、B、Cの音は、鍵盤の①～⑳のどこを弾くか、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。



(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ⑥ | ⑪ | ⑬ |
| 2 | ⑥ | ⑪ | ⑭ |
| 3 | ⑦ | ⑫ | ⑮ |
| 4 | ⑧ | ⑫ | ⑮ |
| 5 | ⑧ | ⑬ | ⑯ |

問5 次のリズムは、ある曲の歌い始めの部分である。それは次のうちのどれか、一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- 1 赤とんぼ (作詞：三木露風 作曲：山田耕筰)
- 2 たき火 (作詞：巽聖歌 作曲：渡辺茂)
- 3 しゃぼん玉 (作詞：野口雨情 作曲：中山晋平)
- 4 浜辺の歌 (作詞：林古溪 作曲：成田為三)
- 5 まっかな秋 (作詞：薩摩忠 作曲：小林秀雄)

問6 次の楽譜は、ある曲の歌い始めの4小節である。これに関するA～Dのうち、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

- A この曲は、豆まきの様子を歌ったものである。
- B この曲の作曲者は、滝廉太郎である。
- C この曲は、明治時代に作曲された。
- D この曲は、4分の4拍子、8小節からなる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問7 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」オ「表現」(ウ)「内容の取扱い」の一部である。(A)～(C)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 子どもの表現は、遊びや生活の様々な場面で ( A ) されているものであることから、それらを積極的に受け止め、様々な ( B ) の仕方や感性を豊かにする経験となるようにすること。
- ・ 子どもが試行錯誤しながら様々な ( B ) を楽しむことや、自分の力でやり遂げる ( C ) などに気付くよう、温かく見守るとともに、適切に援助を行うようにすること。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	表現	表出	満足感
2	表現	表出	充実感
3	表現	表出	達成感
4	表出	表現	達成感
5	表出	表現	充実感

問8 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

学生のLさんは、保育所で実習を行うことになった。Lさんは、事前に幼児の造形に関する発達理論を学習することで、実習を通して幼児の発達をより深く理解することができるのではないかと考えた。

【設問】

次のうち、造形に関する発達理論として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ローエンフェルド (Lowenfeld, V.) は、子どもの描画の発達として自己表現の最初の段階（なぐりがきの段階）、再現の最初の試み（様式化前の段階）、形態概念の成立（様式化の段階）、写実的傾向の芽生え（ギャング・エイジ）等の段階があるとした。
- B ピアジェ (Piaget, J.) は、命のないものに生命や意思があると考ええる心理作用について、未成熟な子どもは、心の中の出来事と外界の出来事がきちんと区別できているからだと考えた。
- C ケロッグ (Kellogg, R.) は、子どもの描く初期のスクリブルを分類した。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ |

問9 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

運動会を翌週に控えたS保育所でN保育士（以下、N）とR保育士（以下、R）が、看板の文字と背景の色について話し合っています。

N：来週の運動会の看板は、目立つようにしたいですね。

R：そうですね。それなら看板に使う色の彩度にも気をつけたいですね。

N：彩度とはなんですか。

R：彩度とは、色の三属性の一つで、色みの強さや、（ A ）さの度合いのことをいいます。同じ色相・明度であっても、彩度が（ B ）、より（ A ）に見える、ということになります。

N：どんな色にも彩度がありますか。

R：白・灰・黒には彩度がありません。わずかでも彩度を持った色は（ C ）といます。また彩度は、周りの色の彩度によって変化して感じられます。

N：そうなんですね。運動会の看板の色は彩度も考えて見やすいものをつくりたいですね。

【設問】

（ A ）～（ C ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

（組み合わせ）

	A	B	C
1	きれい	高ければ	有彩色
2	鮮やか	高ければ	有彩色
3	きれい	低ければ	純色
4	鮮やか	高ければ	純色
5	鮮やか	低ければ	有彩色

問10 次のうち、はさみの説明や使い方のアドバイスとして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

A はさみには、右手用・左手用という区別はない。

B はさみは、刃元より刃先の方が厚紙などを容易に切ることができる。

C 円形を切り抜くときには、持っている紙を動かして切ると切りやすい。

D はさみを友達に渡すときには、安全のために柄を相手に向けて渡すようにする。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	×

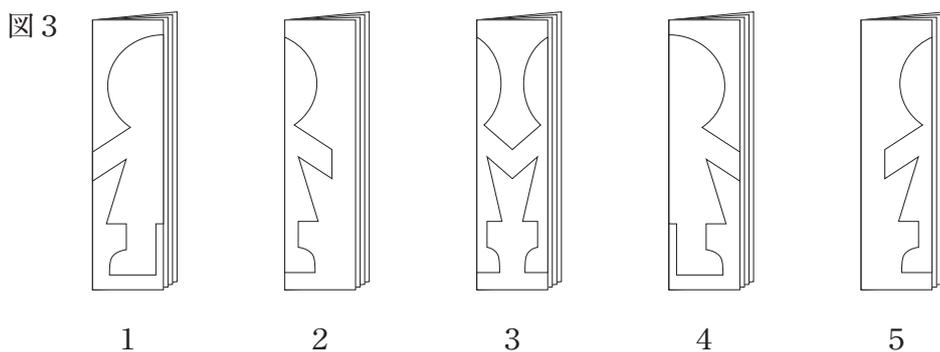
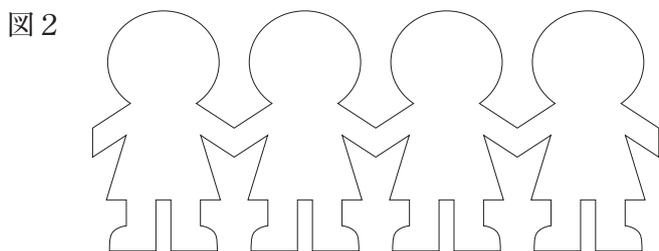
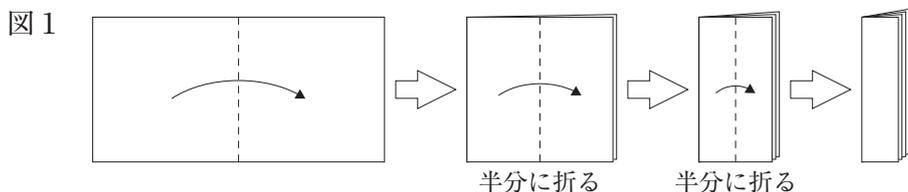
問11 次のうち、フィンガーペインティングに関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A フィンガーペインティングの技法は、太古から洞窟壁画などに用いられてきた。
- B 洗濯のりにポスターカラーなどの色材を混ぜて、フィンガーペインティング用の絵の具を作ることができる。
- C フィンガーペインティングを行った直後に、描かれた画面に紙をのせて版画のように写し取ることができる。
- D フィンガーペインティングの活動では、絵の具の感触を楽しむことができる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	○	×	×

問12 M保育所では、室内飾りを切り紙で作ろうと準備している。図1のように紙を折り、はさみを入れて開くと図2のような形状になる飾りを作る場合、切り込み線の入れ方として、図3の1～5のうち、正しいものを一つ選びなさい。(紙などを実際に折ったり切ったりしないで考えること。)



問13 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」4「幼児教育を行う施設として共有すべき事項」(2)「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」ク「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」の一部である。( A ) ~ ( C ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

遊びや ( A ) の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の ( B ) に気付いたりし、自らの ( C ) に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	生活	性質	必要感
2	学び	役割	意思
3	学び	性質	意思
4	生活	役割	必要感
5	学び	性質	必要感

問14 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

保育所の新任のP保育士は、施設長から、「子どもの遊びを支える環境についてというテーマで、来週、保育所内で保育カンファレンスを行います」と伝えられました。

**【設問】**

次のうち、保育カンファレンス当日のP保育士の行動や態度として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 新任のため、保育所内の環境についてよく理解していないので、発言は控える。
- B 他の保育士の意見より、施設長や主任などの意見を尊重する。
- C 自分の考えと異なる保育士の意見にも耳を傾ける。
- D 看護師、調理員、栄養士等とは職務内容が異なるので、それぞれが担う業務に対しての意見は控える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

問 15 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

保育所の5歳児クラスを担当しているR保育士は、子どもの動線に配慮した園庭や遊具の配置などを検討するために、子どもの動線を記録することとした。

【設問】

次のうち、動線の記録と園庭や遊具の配置などの対応として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 動線を記録してみると、園庭で広い空間を使って「色鬼（色つき鬼）」などルールのある遊びに熱中している活発な子どものグループがあることがわかった。しばしばこの動線が、3歳未満児クラスが砂場で遊んでいる空間と交差していた。そこで、3歳未満児クラスの担当保育士と話し合い、園庭の使い方の共通理解をはかることとした。
- B 動線を記録してみると、虫取りが好きな子どものグループがあり、垣根や裏庭の花壇の周辺を回遊するように遊んでいることがわかった。そこで、子どもの自然な活動の流れが崩れないように、その動線上の安全点検をすることとした。
- C 動線を記録してみると、保育室のままごとコーナーで遊んでいる子どもが「散歩に行こう」と園庭に出ていくことがあるとわかった。そこで、特定の場所でじっくり遊べるように、ままごとコーナーから園庭に簡単に出られないように、活動を分ける仕切りを置くこととした。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ |
| 5 | × | × | × |

問 16 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

実習生Kさんは、保育所で保育実習を行っている。3歳児クラスで、絵本『おむすびころりん』の読み聞かせをすることになり、指導計画を作成することになった。

【設問】

次のうち、指導計画の「ねらい及び内容」として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 『おむすびころりん』の物語を楽しむ。
- B 「おむすびころりん すっとんとん」など、心地よい言葉のリズムを味わう。
- C 絵本の中に出てくる言葉のやりとりを保育者（実習生）や友達と楽しむ。
- D 絵本の読み聞かせが終わるまでは、動かずにきちんと座って話を聞かせる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	×

問 17 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

保育所で5歳児クラスを担当するQ保育士は、近隣の小学校との連絡会に参加し、小学校との連携の取り組みについてまとめた。

**【設問】**

次のうち、小学校との連携に関する取り組みとして、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所児童保育要録は子どもの生年月日などの個人情報が含まれているため、「個人情報の保護に関する法律」に照らして適切に運用するものであり、配偶者からの暴力の被害者と子どもというように特別の事情がある場合だけでなく、子どもの育ちを支えるための資料を小学校へ送付する場合には必ず保護者から同意を得て、小学校に送付するという共通理解をはかった。
- B 「保育所保育指針」に新しく取り入れられた「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、幼児教育の考え方であり、小学校の教員からは共通理解されにくいので、あえて触れないようにした。
- C 保小連携の一環として、交流の機会を増やせるように、小学校と保育所の年間行事の内容を情報交換し、担当者間で話し合いを行うようにした。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ |
| 5 | × | × | × |

問 18 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」の一部である。( )に「生活」という言葉を入れた場合に、正しい記述になるものを○、誤った記述になるものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その( )時間の大半を過ごす場である。
- B 子ども相互の関係づくりや互いに尊重する心を大切にし、集団における( )を効果あるものにするよう援助すること。
- C 子ども自らが環境に関わり、自発的に( )し、様々な経験を積んでいくことができるよう配慮すること。
- D 一人一人の子ども の状況や家庭及び地域社会での( )の実態を把握するとともに、子どもが安心感と信頼感をもって活動できるよう、子ども の主体としての思いや願いを受け止めること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

問 19 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

母親の不適切な養育により S 乳児院に入所した K ちゃん（1 歳）。S 乳児院で実習している Y 実習生が K ちゃんと遊んでいたところ、面会で訪れていた K ちゃんの母親と W 実習指導者が K ちゃんのところに来た。その時、W 実習指導者が電話対応のために、席を外した。母親が K ちゃんを抱っこしようとする、K ちゃんは泣きだした。それを見た母親は、「私だと泣いちゃいますね。一緒に暮らしていないから、私が母親だっていうのもわからないのかもしれない」と言い、寂しそうな表情を浮かべた。Y 実習生は、その日に振り返りの機会を設けてもらい、このエピソードについて W 実習指導者に報告した。

【設問】

次のうち、W 実習指導者が Y 実習生にとるべき対応として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「K ちゃんが泣きだした段階で、母親から引き離してあなたが抱っこすべきでしたね」と伝える。
- B 「母親が K ちゃんに対して不適切な養育をしていたことで入所させたのだから、母親はもっと K ちゃんの気持ちを考えて行動すべきですね」と話す。
- C 「母親のその時の気持ちについてはどのように感じましたか」と尋ねる。
- D 「少しずつ母子の関係形成ができるよう、支援することが大事ですね」と伝える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

問 20 次のうち、「児童養護施設運営ハンドブック」（平成 26 年 厚生労働省）に示された実習生受入れに関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 施設実習は、子どもを養育した経験のない実習生にとって具体的な援助技術の学びの場であると同時に実践の場である。
- B 実習生にとって最も大切なことは、子どもたちがおかれている現実にとりあえず寄り添い、子どもたちの心の機微にとりあえず触れることができるかである。
- C 個人情報保護の観点から、実習生には子どもたちの生い立ちに関する情報は一切伝えてはならない。
- D 実習生の育成は、実習指導を通し将来の児童養護施設職員の育成につながり、そのことが人材確保に大きな役割を果たすことを意識して丁寧な指導をすることが必要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

# 保育実習理論

問1 正解 5

問2 正解 5

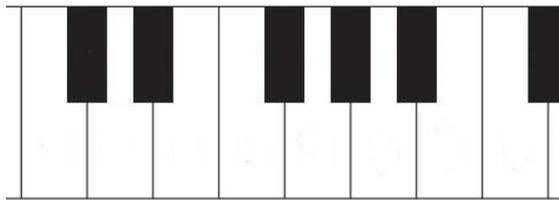
- Aーキ mp (メゾピアノ) 少し弱く
- Bーケ D.C. (ダ・カーポ) はじめに戻る
- Cーク cresc. (クレッシェンド) だんだん強く
- Dーオ cantabile (カンタービレ) 歌うように

問3 正解 3

マイナーコードは根音(ルート)、短3度、完全5度(ピアノの白鍵に黒鍵も加えて数えると、ルート音+3+4)から構成されるコードです。設問は転回形になっているものもあるので注意しましょう。

- |                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| ア Dm (短三和音: 根音から短3度、完全5度を加えた和音) | レファラ             |
| イ Edim (減三和音: 根音に短3度、減5度を加えた和音) | ミソシ♭             |
| ウ Aug (増三和音: 根音に長3度、増5度を加えた和音)  | ラド#ファ            |
| エ Cm (短三和音: 根音から短3度、完全5度を加えた和音) | ミ♭ソド ※ドミ♭ソの転回形   |
| オ Bm (短三和音: 根音から短3度、完全5度を加えた和音) | レファ#シ ※シレファ#の転回形 |

※余白に簡単な鍵盤を描くと確認しやすいでしょう。



問4 正解 5

問5 正解 5

問6 正解 3

問7 正解 5

- ・ 子どもの表現は、遊びや生活の様々な場面で( A 表出 )されているものであることから、それらを積極的に受け止め、様々な( B 表現 )の仕方や感性を豊かにする経験となるようにすること。
- ・ 子どもが試行錯誤しながら様々な( B 表現 )を楽しむことや、自分の力でやり遂げる( C 充実感 )などに気付くよう、温かく見守るとともに、適切に援助を行うようにすること。

問8 正解 2

- A・C ○ 適切です。
- B × 不適切です。ピアジェは、未成熟な子どもは、心の中の出来事と外界の出来事とが区別できていないからだと考えました。

問9 正解 2

R：彩度とは、色の三属性の一つで、色みの強さや、（ A 鮮やか ）さの度合いのことをいいます。同じ色相・明度であっても、彩度が（ B 高ければ ）、より（ A 鮮やか ）に見える、ということになります。

R：白・灰・黒には彩度がありません。わずかでも彩度を持った色は（ C 有彩色 ）といえます。

問10 正解 4

A × 不適切です。はさみには、右手用・左手用という区別があります。

B × 不適切です。はさみは、刃先より刃元の方が厚紙などを容易に切ることができます。

C・D ○ 適切です。

問11 正解 1

A～Dのすべて適切です。

問12 正解 4

問13 正解 4

遊びや（ A 生活 ）の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の（ B 役割 ）に気付いたりし、自らの（ C 必要感 ）に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

問14 正解 5

A × 不適切です。保育カンファレンスの目的とは、参加者全員の意識が変わり、人間関係が向上されることです。経験や立場の違う参加者からさまざまな意見が出るのが大切になります。

B × 不適切です。施設長や主任の意見だけでなく、他の保育士の意見を尊重します。

C ○ 適切です。

D × 不適切です。保育の質を高めるために様々な意見の中からどれを実践していくかを関係者同士で意見を出し合う必要があります。

問15 正解 2

A・B ○ 適切です。

C × 不適切です。ままごとコーナーで遊んでいる子どもが、園庭にいる他児の遊びを見ることで「やってみたい」という気持ちを起こさせているので仕切りを置くことは不適切です。

問16 正解 1

A～C ○ 適切です。

D × 不適切です。子どもの集中力は多種多様なため、全員が揃って絵本に集中することは難しいです。集中できない子どもを動かさずきちんと座らせることは子どもの主体性が全くないことになるため不適切です。

問17 正解 4

A × 不適切です。「保育所保育指針の施行に際しての留意事項について」に、原則として個人情報第三者に提供するには本人の同意が必要となるが、保育所児童保育要録については、例外的に同意が不要となる場合を定めた同法第23条第1項第1号（法令に基づく場合）に該当するため、第三者提供について本人（保護者）の同意は不要であること。と記載されています。

→ 子どもの就学に際して小学校へ送る際には保護者の同意は不要です。

B × 不適切です。幼児教育の考え方は、子どもが小学校に上がっていくのに小学校との連携が大切になるため、小学校との共通理解は必要です。

C ○ 適切です。

問 18 正解 3

A・D ○ 適切です。

B・C × 不適切です。「生活」ではなく「活動」です。

問 19 正解 4

A × 不適切です。Kちゃんが泣きだした段階で母親から引き離すことは、母親をさらに追い詰めることとなります。

B × 不適切です。

C・D ○ 適切です。

問 20 正解 2

A・B・D ○ 適切です。

C × 不適切です。実習を行うにあたっては、子ども達のプライバシーや個人情報保護に十分な配慮が必要ですが、実習生に情報を「一切」伝えないことは適切ではありません。勿論、実習生は実習中に知り得た子どもに関する情報は、個人情報保護の観点から外部へ漏らしてはいけません。